2—155

島田三郎安部磯雄監輯

廓清

第三卷第四號

主張 社會之改良・風紀之廓清・男女之貞潔・家庭之和樂

△家族制度と公娼制度……早稻田大學教授 安部磯雄
△醜業者の待遇……靈南坂教會牧師 小崎弘道
△廢娼問題と婦人……成女高等女學校長 宮田脩
△家庭の純潔と趣味の向上……婦人之友主筆 羽仁もと子
△陸軍兵と花柳病との關係……陸軍省衛生課長醫學博士 山田弘倫
△海軍兵と花柳病との關係……海軍々醫少監 大貫安三

雜誌之雜誌
◎宗教的氣分とは何ぞ◎靈交し靈化せよ◎人類の前途に橫はれる大問題◎學閥は日本の特產物◎容貌の勢力◎思想界の傾向◎和歌の心理的研究◎花と大阪趣味◎羨ましいと思ふ道樂◎心の平和と幸福◎こんな女になつて欲しい◎家庭と藝術趣味◎斯くあるべき女◎親の習慣は子供の習慣◎母親自身顧みよ◎紺絣に附ける糊の製法◎浸み拔きに就て◎食物用の豚肉

△米國の娼婦撲滅運動……シカゴ娼婦撲滅夜半傳道會長 アネスト、エ、ビル
△咄樓主町會議員となる……A M 生
△阿部野遊廓移轉に就て……一會員
△不貞潔が生みし人生の悲劇……贊助會員 角谷和市
△自由廢業と樓主の大狼狽……K Y 生
△海外遠征の娘子軍……鬼哭生

東京 廓清會本部發行

會員の義務

一 成るべく同志を糾合して會員の增加を圖ること。輿論の勢力を作るには同志の一人にても多からんを要す。

一 不用の雜誌は可成知人の間に廻付して主張の徹底を計ること。

右會員諸君が、自らのデユーチーとして御實行あらむことを希望す。

出版書目

歐米諸國 **醜業公認制度廢止運動**
定價一冊 拾五錢 郵税貳錢

右は先般本邦に來援せられたるモーリスグレゴリー氏の著書を飜譯せしものにして、安部磯雄氏の嚴密なる校閲を經たるものなり。自己の研鑽の爲め將又主張貫徹の爲め、最も有力なる武器なり。奮つて購讀あれ。

伯爵 大隈重信述
廓清叢書第一卷 **公娼廢止論**
廓清會理事 益富政助述

廓清叢書第二卷 **此羅災者を救へ**
救世軍大佐補 山室軍平述

廓清叢書第三卷 **道樂者への强異見**
救世軍大佐補 山室軍平述

廓清叢書第四卷 **自由廢業を奬勵する理由**
廓清會長 島田三郎述

廓清叢書第五卷 **廓清會組織の趣意**
廓清會副會長 安部磯雄述

廓清叢書第六卷 **公娼制度と社會の風儀**

定價一冊各貳錢 郵税六冊迄貳錢

本會に所用の方は
東京神田區美土代町三丁目三番地
廓清會本部
宛に願上候

會費の納入

會費は郵便爲替、又は振替貯金東京一九五三三番益富政助に拂込まれたし。

(注意) 前項振替口座一九五三三番は益富政助氏名義にして廓清會所有にあらず、依て御送金の節は、必ず益富政助宛に御拂込相成たし。但し裏面に「廓清會費」と明記ありたし。

大正二年四月十四日納本　一部定價金六錢
大正二年四月十五日發行　(毎月一回十五日發行)

編輯兼發行人　神田區三河町一丁目十四番地　伊藤秀吉
印刷人　神田區三河町一丁目十四番地　小林照雄
印刷所　丸利印刷所
發行所　神奈川縣川崎町砂子百三番地　廓清發行所

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

家族制度と公娼制度

早稻田大學敎授
廓清會副會長　安部磯雄

△改良せねばならぬ家族制度

救世軍の山室大佐のお話に依りて、公娼が如何に悲慘なる者であるかを思ふと、斯かる悲慘なる事實が今目前に存在して居るのに、我等は何故に之を滅亡せしめる事が出來ぬか。斯かる惡制度が現存して居るのに之を其儘放置することは人道上から見て又道理上から見ても甚だ不都合である。然し日本に此の制度が現存するのは寧ろ當然なる事で、之を滅亡せしむることの出來ない原因が橫つてゐるのである。其原因とは何であるか。日本の家族制度即是で、日本の家庭なるものは家族制度であるが故に公娼制度を打壞すに不都合なのである日本の家族制度は昔に於ては誠に善かつたので、之でなかつたならば其當時の社會は成り立たなかつたのである。又是に由つて其當時の社會は發達し來つたのであるが、今日の世は昔時と異りて已に立憲政體となり、個人々々の權利が認められ、婦人に對する思想も違つて來て、古代の家族制度では甚だ不都合である樣になつたにも係はらず、昔の制度を其儘存して置くから種々の弊害も出來て來るのである。

△父の權利が强過ぎる

我國の家族制度を見るに、一家には親があつて其權力と云ふものが非常に强く、子たる者は少も權利がないのである。そして法律は此制度を其儘に保護して居る。即ち我國の民法は戶主に非常なる權力を附與して、何事でも戶主の意に由りて左右せらるゝ樣になつて居て、日本の家庭の上に大なる弊害を流して居る。彼の最も惡むべき公娼制度の如きは、此の家族制度が生んだのであるとは云はれまいが、少くも家族制度が今日の公娼制度を維持して居るのである。實業の日本社の增田君が書いた物の中に此んな事がある、其は或家族制度の犧牲になつて居る人が增田君に質問したのである。其人は叔父さんの家に養はれて居て、今は醫を學んで居るが、三ケ月前に妻を貰つた。此妻は或高等女學校の卒業生で、畫を書くのが巧みであつた。或時田舍のお祭りに若夫婦で往つたが、母は往かぬと云ふ事で、母と若夫婦殊に妻君との間に感情の衝突を來したのである。妻君は其事に就ての感想を日記に書いて置いたのである。其のみならば何でも無つたが、

妻君は姉に其事を訴へ、姉よりは其に對する返事もあつた。處が其嫁の日記と姉よりの手紙を母が見て『斯んな嫁を家に置く譯には行かぬ』と大に怒つて主人に其事を告げ、大悶着が起り出したのである。然るに一方妻君は敎育ある婦人であつたから、勃とした『他人の手紙を開封し、剰へ他人の日記を窃み見るとは不當である』と言つたが、叔父は聽かぬ。遂に親戚會議を開くことになつて、其決議により斯かる嫁を家に置くことは出來ぬと決したが、某氏は此んな理由では妻を離縁することは出來ないと主張した。然るに父は獨斷で嫁を離縁して終つたのである。此に就て何れが惡いかと云ふ事を質問されたので、其に答へた文がある。其主意は、假ひ父は尊いものであつても、嫁の手紙や日記を見ると云ふ點は甚だ惡いと云ふて其罪を親に歸してある。然し斯かる悶着は日本の家庭には決して少くない。家庭の風波と云ふ事は夫婦の間に起るべき者であるのに、日本の家庭の風波は父子の間より起るのが多いのである。如何に父は子に對して強き權力を有して居ればとて、子の妻を離縁する權利がどこにあるか。法律では迚も出來ぬ事であると思ふ。然し法律を潜つて何とかしたならば子の嫁を離縁することが出來ぬとも限らぬ。其は父たる者が不法を行ふからであるが、世間では父が子に對して行ふ不法は決して不法として之を責めない。弱い者が強い者に壓迫せらるゝをば何でも當り前と考へて居るのは實に日本の家族制度が惡いからであると思ふ。

△日本民法が惡い

家族制度に就ては民法に據つて考へねばならぬ。吾々は法律を破つてはならぬが、之を批評する權利はある。法律で定めた者は皆正當であると考へるのは惡い事である。凡そ法律なる者は社會の人の思想に從つて、其時其時に變更して往かねばならぬ者で、社會の人の思想が進んで來たならば、之を改正しなければならぬ。今日本の民法を案ずるに甚だ不完全である。殊に家長なるものにあんなに權力を與へる事は社會の上に非常なる害惡があると思ふ。今日では憲政を擁護せねばならぬとて、一個人が主張するを得る如く、個人の權利と云ふものを認められて居る。然るに日本の人の子たる者は父に對して何等の權を見認められて居ない樣な狀態になつて居る。私は民法の講釋をするのではない。唯其大體論だけを云ふのである。或友人から聞いた女中の話がある。之に由つて見ても日本の民法が不都合である事は分る。彼女は僕の友人の家に來て下女奉公をして居たのであつたが、年頃になつたので女中の實家から、云々の處があるから其處へ嫁に往けと申して來た。本人は思ふ所があるからと云つて其縁談を斷つた所が、此度は主人の方から良縁があるから、嫁になつた方がよからうと申聞け、本人も其んな處なら往きたいと云はれたので、實家へ戸籍を送つて呉れと申遣はしたが、實家では其縁談を承知しない。籍は決して送られぬと申し來つた。未だ十代であるから戸籍を送らなければ結婚は出來ないので、其縁は戸主の權利に妨げられ、遂々破綻となつたのである。此は私が京都に泊つた時友人から聞いた事で、事實である。

△財産制度も悪い

又財産の事に就ても戸主の權利は非常な者である。此んな風にして居るから貧富の懸隔が出來て來るのである。新政黨には社會政策と云ふ事が其綱領の一に掲げられてあるが、民法は戸主に財産の大部分を讓つて往く樣に定めてあるが爲に、富者は益々富み、貧者は益々貧しくなりて、茲に社會問題が湧起して來るのである。若も佛國の如くに子供が幾人あつても親の財産は之を其子の數に應じて等分すると云ふ樣に規定せられてあるならば、岩崎とか三井とか云ふ樣な大富豪の財産も五人又は六人の子供に等分せらるゝとせば、小時代の内に速かに少くなつて終ふのであるが、之を日本風に長男一人で其全部又は大部分を獲得すると云ふ事になれば、幾代經つても財産の減ずる事はなく、益々富を重ねて往く事になるから、今までの貧者の得べき富はなくなつて、茲に貧富の差を益々大ならしむるのである。戸主が權利を持つて居て、家族たる者の一個人の權力を認めぬ樣にした事が、軈て長男に他の弟よりも大なる權利を與へて置く事になつたのであるが、此も甚だ謂れなき事であるから、是も改めねばならぬ事であると思ふ。

△公娼となるは多く父に原因する

斯く家長即ち戸主の權利を認識めても、個人の權利を認識めぬと云ふ事が公娼制度に如何なる關係を有するかと云ふに今日娼妓となれる者に就て其娼妓となれる動機を調べて見ると、其大部分は父の爲に娼妓に賣られた者である。或は父の借金を返済するが爲に、身を苦界に沈められたとか、又は父の衣食の資に窮したが爲に、子を賣つて其身の代金を取つたとか云ふのが多い。甚しきに至つては父が酒を飲み賭博をうつ資を得んが爲に娘を賣る者もあるのである。公娼制度は勿論悪い。此の制度があればこそ、子女の身を賣る父母も出來て來るのであるが、日本の家族制度で戸主家長に最大なる權利を與へ、子女其者は唯父母の命に是れ從ふと云ふより、父の都合によりては賣られもし、一生苦界に沈められても之を如何ともする能はざる制度が、此の公娼制度と相俟つて、今日あるを致したのであると思ふ。吾々は憲政擁護、藩閥打破は喜ぶべき事であると思ふ。是は實に憲法の事で、憲法を擁護するのは取りも直さず人權を擁護するのである。彼の集會の自由、言論の自由は皆憲法で擁護する所の者である。若も他人に亂暴をする者があらば、之を警官が取締るがよい。然し他人の安寧を妨げざる限りは警官は之を取締るの必要のないのである。然るに警官は憲法に據つて定められた此權利を蹂躙することのあるのは實に嘆かはしい事である。人は憲法に由つて個人の權利を主張する事が出來るのに、時として其個人の權利を蔑視することのあるのは誠に困つた事である。

△自他の權利を尊重せよ

此間も話した事がある。外國で或友人と汽車旅行をした時

喫烟を禁じた車に乗つて烟草を吸つて居るものがあつた。烟草を喫ふ人には何の差しさはりもないが、烟草を嫌ふ人に取ては非常な迷惑であるから、其規則違犯なる事をボーイに告げると、ボーイが其事を其人に話して喫烟を止めんことを求めたが、言語が分らぬ風をして依然喫烟を續けて居つたが、規則を破つて居ても之を止めさせる事が出來ない、是は腑甲斐ない様であるが、已に自分の權利を主張した以上は、之を聽かぬは先方が惡いので仕方のない事である。總て己の權利を他人より害されても決して構はぬ位の人は、又他の權利を何とも思はずに害することをするのであるから、他の權利を害せざらんと欲するには矢張り己の權利を害せられざる様に主張せねばならぬ。

△公娼制度の根本解決は家族制度の改正にあり

公娼制度に就ては世人は甚だ冷淡である。否彼は他人の權利に關することであるから、我等は構はぬと云つて看過することが出來る。が、之を看過するのは軈ては己の權利を害せらるゝのであるから、之を充分に研究し、之に對して救濟の法を努めねばならぬ事であると思ふ。然るに今日では政治家で尤も人權問題に重きを措かねばならぬ人でも、公娼問題には非常に冷淡である。學者も之に對しては甚だ冷淡に考へる。是は日本の家族制度が自然に然らしむるのである。出ては憲政擁護を叫び、人權の尊重すべきを主張する人でありながら家庭に歸ると妻や子の權利を認めずして、所謂專制主義で家族の者を壓制する人がある。そして之を何とも思はずに平氣で居る。こんな人が多いから公娼制度に就ても、婦人の權利を認めざる事になりて、之を平氣で看過するのである。若も日本の家族制度を改めて、家長は唯家長たるの權の外、餘りに強大なる權を振はず、父が子に對するも今日の如く其全權利を奪つて、子に何等の權利なきに至らしめず、各個人には各個人の權利あるを認めて、苟も其の權利を害するものがあるならば、之が伸張を努める様にしたならば、此に於て公娼制度に對する問題は容易に解決せらるゝのであると思ふ。要するに日本人が個人の權利を認識めざるは、其源は家族制度が立憲的でなく、專制的になつて居るから起つて居るので、個人の權利を認識めざるによりて、公娼制度の如き婦人の權利を蹂躪して顧みざるの制度を何とも思はずに看過するのであるから、公娼制度問題の根本的解決は、實に日本家族制度の改良にあることであると思ふ。

○小林富次郎氏の新企畫

ライオン齒磨の小林富次郎氏は、今回社會講演なるものを主催さるゝ事となり、去月二十三日午後六時東京神田青年會館に於て、初て其第一回の蓋を開けられた。當日の講師及び演題を聞くに、井上胤文氏の開會の辭、中尾清太郎氏の新しき女の批評、安井哲子女史の住み心地のよい社會と、住み心地の惡い社會、田中通信局長の青年の責任、黒板博士の歷史の見方等の講演あり、江原素六氏は出席せられたるも咽喉障害の爲め缺講、堂上堂下に溢るゝ聽衆千餘名に達し、會場は整理の爲め餘儀なく滿員謝絶の札を掲ぐる程の盛會であつた。尚同講演會は之を皮切として、全國各地の都會町村にも及ぶ計畫なりと

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

醜業者の待遇

靈南坂敎會牧師　小崎弘道

（一）世界第一の榮譽

私には統計を調ぶるといふ一の道樂がある。先達ても萬國の統計を調べてゐると、各國とも何か一つ二つ宛必ず世界第一と云ふものがある事に私の興味が動いた。英國は領域の尨大と海軍の强盛と、汽船の噸數、外國貿易の額に於て世界第一であり、米國は農產物と、礦山の產額と、富とを以て世界第一に居り、露國は陸軍の强大と、國費、卽ち二十幾億といふ歲出歲入を以て同じく世界第一の榮譽を有してゐる。

そこで日本にも何か一つ位世界第一がありさうなものと調べて見たが却々ない。ふいと氣がついたのは醜業婦で、之れならば確に世界第一であらうと首肯いた。併し是れ迄は世界第一といふ言葉の中には、光明的の意味を有して、其事が直に一の誇を意味してゐたが、我日本の醜業婦に至つては、人類の最も暗黑的な方面を象徵したる、恥辱の意味に於ける世界第一なる事を思ふて、慨歎の極、私は呆然として了つた。

昨年の四月頃、米國人でホリルといふ人が日本の風俗を書いた一論文を、國民新聞に轉載してあつた。それに、『日本には醜業婦が二百萬人居る、十七八歲から三十迄の婦人は、八人に一人は醜業婦である』といふやうな怪しからぬ事が書いてあつた。私は此時直に又統計を調べて見たが勿論そんな筈はなかつた。どういふ譯から二百萬といふ數字が出たかといふと、公娼が日本に四萬人、藝妓を略同數として八萬人、酌婦其他を加算して總計凡二十萬人內外ある、それをホリルといふ人は桁違ひをして二百萬と勘定したのであらうと思ふ。併し二十萬にしても偉い數で八人に一人でなくとも八十人に一人はある、之は國民の大に反省を要する事であると思ふ。

一體日本人は醜業の醜といふ字を何と解釋してゐるかといふ事を私は疑ふ者である。醜といふ字が、みにくい、汚い、厭なものとしたならば、醜業に關係の者を國民は排斥しなければならぬ筈ではなからうか、然るに日本に於ては金力是權力で、醜業者と雖も黃金といふ武器さへ有すれば、其處に直に權力が賦與せられる。市會議員、町長、村長、斯ういふ樣な名譽職が易々として彼等に壟斷せられ、利のある處國民は其膝下に跪いて恬として耻づる處を知らないのは、何といふ浩歎すべき現象であらう。之はどうしても青年諸君が覺醒して道德を振興し、正義の大旆を擁して醜業者を紳士の社會より驅逐し去つて了はないならば、國家の前途も、悲觀に

陷らざるを得ないであらうと思ふ。

（二）醜業者には笞刑を科せよ

然るに夫れに就て先日非常に愉快なる報知に接した。昨年の十月中旬、女子を誘拐又は賣買し、或は强て醜業を營ましむる者に對する二つの刑法治罪法の改正案が、英國の國會に提出せられた事である。一は醜業者を捕縛する事に關する修正案で、從來人權を尊重する上よりして如何なる犯罪も現行犯でない以上は、巡査は之を捕縛する事が出來なかつた、裁判所からの令狀がなければ手を着ける事が出來なかつたのを醜業者に限つて巡査は何時でも捕縛し得る樣にしようといふのであつた。醜業者を人間以下として取扱はうといふ法の精神は、實に吾人の注目に値するものであらうと思ふ。も一つは醜業者に對する處罰で、從來罰金とか懲役とか、長くて三年位であつたのを、醜業者といふものは人格を失つた、人面獸心の者であるといふ見地から、何百圓の罰金、何十日何ケ年の禁錮懲役に處しても所詮無効である。泥棒は他人の金錢を盜むのであるが、醜業者は婦人の節操を泥棒する最も憎む可き者で、斯かる輩に對しては一通りの刑罰ではよくないから、永い間歐羅巴では廢してゐた笞刑を復活して彼等に適用し、動物に對するやう引叩かうといふ案である。

此笞刑といふのは、日本では明治五年四月に太政官布告百十三號で、人身の賣買を禁じ娼妓を解放した。其以前に笞一個を一日と改めた。新法律令には笞刑といふ名があるが今は全くない、唯朝鮮、臺灣、關東州には土人に對して種類によつては之を科してゐるが、要するに文明國には動物虐待防止會すらある今日、野蠻なる處罰法として跡を絕つたのである。にも不拘人文の最も進んだ英國、人權を最も重んずる英國に、野蠻なる體刑を復活しようと云ふのは、頗る興味ある現象と云はねばならぬ。

（三）動物は叩かざる可からず

この國會の議事錄を讀んで見ると、自由黨も保守黨も黨爭上の感情を一擲し、人道問題として贊成を表してゐる。オースチエム、チヤンバーレン氏は演說して『彼等は人間の心を失つたもので、人間ではない、獸類に墮落したものである。動物を矯正するには叩かなければならぬ、醜業者を懲戒矯正するにも此方法を採らねばならぬ』といふ樣な意味を述べてゐる。本案は下院を四四に對する一七七といふ大多數で可決したが、初犯は禁錮懲役にし二犯から笞刑を實行しようといふ修正說が出て、大分議論が沸騰したけれども、結局四票の差を以て通過し、十一月末に上院に廻つた。此程朝日新聞は此改正案が愈々實行になり、倫敦の町に於て醜業者の大恐慌を來し、續々歐羅巴に逃れて行くと云ふ樣な報道をしてゐる。之に比して日本の現狀の淺ましさ、人道の委靡として振はざる亦甚しき哉である。日本に於ても英國の如く輿論の制裁に堪へず支那邊りにでも逃げて行き、社會の廓淸を見るやう靑年諸君の奮起を渴望して止まない者である。

2－162

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

廢娼問題と婦人

成女高等女學校長
廓清會評議員　宮田修

(一)廢娼運動の分擔

今更女子の貞操を賣買する行爲を許容すべきであるか否かを論ずる必要はない。國家が之を營業として認めて置く事の是非善惡を論難しなければならぬ程、私は日本人が野蠻であらうとは信じたくないのである。が議論は兎もあれ、悲しい哉公娼の存在は眼前の事實である。

さればこれに對する反對運動には、苟も人道を解する程の者は何人も競ひ起たなければならぬ筈であるのに、兎角引込み思案の日本婦人は、自分の同性が淺ましい所業をなし、堪ゆべからざる凌辱を蒙りつゝある境遇を見ても、唯通り一遍の哀憐の情を催すに止まり、怎うにかしてやらうといふやうな、一歩突込んだ深い同情心の衝動する者は、遺憾ながら寥々として晨星も啻ならざるのが現下の狀態である。

此問題の如きは決して男子のみの問題ではない、女子も共に協力して之が解決に努めなければならないのである。

そこで私は此廢娼運動をなすに就て男女の性によつて分擔の任務を定めて見たいと思ふ。私は此運動を第一營業者（貸座敷業者）に對する抑壓運動、第二醜業婦に對する救濟、第三墮落青年の防止運動の三つに分つて考へて見たい。先づ第一の運動は男が受持つか女がやるかといふ事は、問題の對象即ち運動の當面の敵が男であるか女であるかといふ事を知つてからでなければ定められない。で大抵此種の營業をする者は表面は女名前のやうであるが其裏面には必ず有力な男子が伏在してゐるのは殆んどお定りである。私は斯ういふ方面の消息を餘り知らないから或は世間見ずの譏を免かれないかも知れぬけれども、斯うした罪深い恐しい所業をしてゐる大膽さ加減は、到底今日の處男子でなくては覺束ない事であるやうに思ふ。果して私の考が正當であるとすれば、此營業者をやめさせるといふ抑壓運動に就ては、男子の名譽として宜敷男子が其衝に當らなければならぬと思ふのである。若し温和な手段を盡しても之を改悛せしめる事の出來ない時には、此頃やつた早稻田の學生に倣つて示威運動を試むるのも結構である、根本から破壞に出掛けるのもよからう、少しは野蠻かも知れないが、亂世の時は血を以て平和を贖ふのである。之を廢する方法が野蠻であるよりもその存在の方が遙に野蠻である事を思ふたならば、場合によつては血を見るとも最後迄も吶喊の鋒先を緩めない覺悟を望むのであつて、之は何處迄も

男子の分擔として責任を有ちたいと思ふ。

△第二の對象は無智な、纖弱い婦人である。命よりも尊むべき操を賣買する事を、自分の身體を自分の自由にするに過ぎないとしか考へてゐない善惡邪正の差別すら滿足に分らない氣の毒な婦人である。斯ういふ婦人に其所業の卑しむべく憎むべきであることをよく了解せしめ、其境遇から正業に導き、或はさういふ境遇に陷らぬやうに防止する運動は、之は男子が取扱ふよりも婦人が同じ性の親しみを以て取扱ふ方が確に適してゐる、此方面は專ら婦人に御依賴したいと思ふ。

(二)婦人自ら缺陷を反省せよ

△第三は遊びに行く人の袖を引張つて、まあお止しなさいといふて止める役目である。遊びに行くといふ事に就ては、近頃婦人が往つたなど丶新聞に見えてゐたが、先づ多くの場合男である。して見れば之を止める役目も男子といふ譯になるのであるが、併し之は男子のみでいけない場合がある。世間には妻子を有つて居ながら隨分さういふ處に行く人がある。細君があつて而して何の必要があつてさういふ巷に足踏みするのであるか、家庭に於て樂しく團欒をしてゐるのに、尙其上に樂みを求むる必要はないかの如く吾々は考へるのである。乍併ものは變化がなければならぬといふかも知れぬ、或は實際其麽事であるかも知れない、家庭といつても必ずしも樂しい家庭許りあるものでないかも知れぬ。曾て古へ希臘の亞典に於ては、亞典市民は亞典婦人以外に妻を持つ事が出來ないといふ法律があつた。ところが此亞典には却々偉い人があつてプラトーンといふやうな大哲學者もあり、ペリクルスのやうな大政治家もあつた。其他大といふ字のつく人達が少くない、斯ういふ人々はどうも自分の家ばかりでは滿足が出來なかつたのである。當時外國から這入つて來た所のヘキラ英語のコーチスといふやうなものを相手にして宴席に酒を酌み、或は相携へて散歩するといふ有樣であつた。之は怎ういふ譯であつたか、やはり變化を好む人民であつたかといふと、外に原因があつたからである。即ち其奧樣たる亞典婦人は夫の伴侶たるには餘りに幼稚であつた。それは洗濯もしてくれる。飯も焚いてくれる、けれども大なる思想を以て、大なる感情を以て共に喜び共に哀しむといふ、大なる慰藉を與ふる力がなかつた。譬へば茲に繪がある、大變立派な繪ではありませんかと話しかけられた時、唯ハアーといつたきりでは少しも興味が乘らない。何しろ一方が大といふ字のつく人であるからアテネ婦人では滿足が出來なくて、藝妓に等しきヘキラを相手にする樣になつたのである。日本人にプラトーンの如き大哲學者ペリクルスの樣な偉い政治家があるかどうかは知らぬ。けれども今の日本婦人にアテネ婦人の樣な缺陷がありはしまいか、家庭を有つて子供が三人も四人もあり乍ら變化樂しむ‖斯ういふものがあるとしたならば‖何か缺如するものがあるのではなからうか。大に反省して見る必要があるやうに思ふ。

(三)眞摯なる婦人の自覺を望む

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

第三の運動に就て婦人の協力を望むのは特に此點に於てゞある。私は廢娼問題を解決するには、どうしても日本の一般の婦人がもつと敎育されて、男子と同格のものとならなければならないと思ふのである。此問題になると多くの男子が動もすると邪魔を入れて困る。餘り女が立派になつてしまうと少し自分の方が都合が惡くなると考へるのであらう。けれども全體として昔に比べて今の婦人が進歩した事は驚く可きものである。昔ならば細君が夫に離縁を申出るやうな事はなかつた。私は細君が此離縁を迫るやうな時代になつた事を喜ぶものである。と云つて無暗に持出されては困るがそれ位の氣力が出來て來た事は喜ぶべき現象であると思ふ。『今日も歸つて來ないどうしたのだらう』とメソ〳〵泣いて居る奥樣は實に貞淑であるかも知れぬ。けれども一歩進んで胸倉とつて小突ぎ廻すのも困るが、堂々と其非を論じ、どうしても反省しない時には離縁をするといふ氣力はあつて欲しいと思ふ。自分自身の生活を今少し意義あるものとして欲しいと思ふ。廢娼問題の如きは、どうしても婦人の覺醒を見ない間は根本の解決は覺束ない。勿論今日に於ても却々立派な婦人がある。哲學的解釋などは男子に限るやうに考へられてゐたが。日本の婦人社會にも近頃は雜誌に或哲學論を出した人もあつた。又婦人が文學をやるにも最も困難なドラマに筆をつけるやうになつた。或は社會運動、慈善事業等にも大分婦人が關係するやうになつた。これは實に最近に於ける著しき婦人の進歩である。併し未だ

我々が此廢娼問題を舁ぎ歩いて諸所で演說をしなければならぬといふやうな社會であるとすれば、まだ〳〵婦人の勢力が微々たるものである事を證據立てゝゐる譯である。然に近頃大分自覺したといふ所謂新しい女といふのがある。而も男が女の恥辱の爲に——無論女ばかりではない人間の恥辱であるが——運動して公娼制度を破壞しなければならぬと奔走してゐる一方で、此新しい婦人自身が女郎を買つたといふ樣な記事が新聞に表はれるといふ事は何たる矛盾であらう。之は餘り新し過ぎて通り越して了つたのではなからうか。斯んな飛んだ履違ひの自覺をしないで、社會人道の上に眞摯に覺醒し、此間の早稻田の學生のやうに日本婦人が大同團結して、先づ此恐るべき惜むべき制度と戰ひ、健全なる國家に健全なる國民を產む人の母たるに至らん事を切望して止まないのである。

（廓清會大演說會講演、未だ校閲を經ず文責在記者）

各國語聖書發賣

定價目錄無代進呈

聖書は約三百有餘の世界各國の言葉に飜譯致居候、而して日本語と英語は金五錢より十錢、二十錢、三十錢——一圓、二圓、三圓——八圓、九圓、十圓、廿圓、廿五圓等各種有之候

聖書御入用の方は定價表に從ひ御注文と同時に御送金願上候、聖書は各地の書店にて販賣致居候間書店より御買求相成候も又は本社へ直接御注文相成候とも宜敷御座候

◎牧師、宣敎師、日曜學校々長、傳道師、及婦人傳道師諸氏にして傳道の爲聖書取次販賣御希望者は御申込被下ば特に販賣契約取極め可申候

BIBLES
IN
VARIOUSLANGUAGFS
AMERICAN
Bible Society
Yokohama.

各國聖書發賣所

橫濱市山下町五拾三番地

米國聖書會社

振替貯金口座東京一八四一〇番

家庭の純潔と趣味の向上

婦人の友主筆
廓清會評議員　羽仁もと子

概して人は、貧乏してるか、若しくは生活に追はれて、手一杯にやつてる時代には、純潔とか何とか申し、放埒な人々の行爲を冷笑もし、憤慨もしますが、さて自分に餘裕が出來て見ると、昔の事は忘れたかのやう、自分が笑ひ退けた、同じ愚な道をふみたがるものでございます。

由來貧乏で餘裕のない時分に純潔を守るのは容易な事で、或は已むを得ず、然なつてる人もあるかも知れません。ですから逆境にあつては君子として人に敬せられた人も、金の自由の利く得意の時代に至ると、世間なみに、交際上已むを得ないとか何とか口實をつけて、知らず識らず、墮落して行くものゝ實例は澤山あるのであります。

又若い女の方でも、財産や地位に迷つて嫁に行くなんて、つまらない、不見識だなどゝ云つて居ますが、現在そこに金持から自分を貰ひに來たとなるとどうでせう、矢張いくらか心が動くに相違ないと思ひます。私の知つた方にも二三人こんな方があるのです。一人の方などは、大變に信仰の堅い又學問も出來何でも揃つた方で、從つて方々から目をつけられ隨分縁談もありましたものですが、まあ斷つて居られましたですが其後、或非常な財産家から申込みがありまして、その相手の夫たるべき人は、病身だと云ふ口實の許に高等小學位を出たばかりの、學問の點から申しましても、その女の人に比べて、餘りに見劣りのする人でございましたけれども、何故だかその人はキッパリと斷る事が出來ませんでした。そしてこれ迄の主義も主唱も、勇氣もどこへやら、いつの間にか、その不釣合な男に嫁してしまつたのです。

兎角人間は「金なんか」と卑しめて高潔な顔をして居ますがそれは見ない間、持たぬ間の事で、目の前にそれを見せつけられると、これがために眩惑され勝のものでございます。これは實に卑しい事だと思つて居ましたが、考へて見ますと、さう一概に申されない、或は自分も亦その境遇に立到つたならば、等しく眩惑される事はないだらうかと實は危ぶみます。どうしても人は水の低きに流るゝが如く、ともすれば下へ〳〵と行く傾向がございますので、悲しいこの弱點をよく統御して行かなければならないと思ひます。

例へば五十圓の月給の時には、子供を伴れて郊外に出る位を無上の樂しみとして居たものも、百圓二百圓と收入が増して來て、餘裕が出來るやうになると、またそればかりでは滿足が出來ない、他に何か樂しみが求めたくなる。更に餘裕が

多くなれば、思ひ切つた樂しみもして見たくなるので、先日小崎さんの奥さんが私共の雜誌に西洋人の道樂について御話下さいました中に、或夫婦の人が、一人の說教師を伴れてあるいて到るところで說敎をさせる。そして夫婦は、集つた人々が、それを聞いて感動するのを見て無上の樂しみとして居る、と申すのがありましたが、何しろ、種類こそ異ひませうが、こんなに思ひ切つた道樂をして見たくなるのは蓋し人情の常でありませう。

ですから、善に行くか惡に向くか、その餘裕の出來た時が最も大切な時ではありますまいか、この時婦人が機先を制しこれを善い方へ〳〵と向はしむるのがまた大切な事ではありますまいか。五十圓の餘裕が出來ればそれだけ、百圓の餘裕が出來ればまたそれだけ、常に婦人が機先を制して、換言すれば趣味の墮落を防ぐ、――一般の風潮に誘はれ墮落せんとする夫の趣味を、豫め純潔な方に向けるのであります。

今日男子の不品行は素より大部分男子その人の罪でありますが、家庭を純潔ならしむるには、この危機一髮の間に於ける妻の機轉に俟つところも多いので、既に墮落の事實を見てはじめて騷ぎ出すのはおそいのです。

或人々はよく御馳走をして、夫を引とめねばならぬと申します。尤もそれもいゝ事に相違はありませんけれども、どんなに素人が料理が巧いと申しても料理人には及びません。又貧乏な時こそ、御馳走が何よりの慰藉でありませうが、金が出來て餘裕が出來て來ると、必しも夕餉の膳が無上の樂とは限りません。何かそれ以外に望も出て來ます。又無論取亂してるのはよろしくありませんけれども、奥さん自身が藝娼妓のやうな服裝をなさつてそれで夫を引とめやうとなさる方もございますさうですが、これは夫の趣味をいよ〳〵墮落させる不見識なやり方ではなからうかと思ひます。

何も好んで夫の趣味を墮落させるやうな服裝をしなくとも必しも料理の名人でなくとも、男子に家庭を樂しまむるには他にモット大切な事があるのでございます。

男子に限らず、凡そ人間は、誰でも單調に飽き易いもので、お隣でもかうだから、うちでも恁うしようなど〻云つたやうな千篇一律の暮し方では面白くない、だからこの點をよく呑み込んで、毎日々々新らしく生活して行く事が必要だと思ひます。新らしい趣味、新らしい家庭の生命――常に家庭を新らしくする――主婦たるものは、こゝまで、その才能を働かして行かねばならないのでございます。常に〳〵趣味の向上を計らなければなりません。さすれば、先刻申しました、人は一面墮落し易い性質を有つて居ると同時に又一面には、彼の乃木大將の殉死を聞いて、つまらない者までも、何となう引しめらるゝと云ふやうな感奮する性質を備へて居るのでございますから、案外善い方にも行くものでございます。

兎も角も婦人が其才力を充分に働かし、毎日家庭を新らしくし、機先を制して趣味の向上に努めたならば、家庭の純潔は自ら保たれるやうになりはしまいかと思ひます。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

陸軍兵と花柳病との關係

陸軍省醫務局衛生課長醫學博士 山田弘倫氏

三

左は國家醫學會に於ける講演の大要である未だ校閲を經ず文責在記者

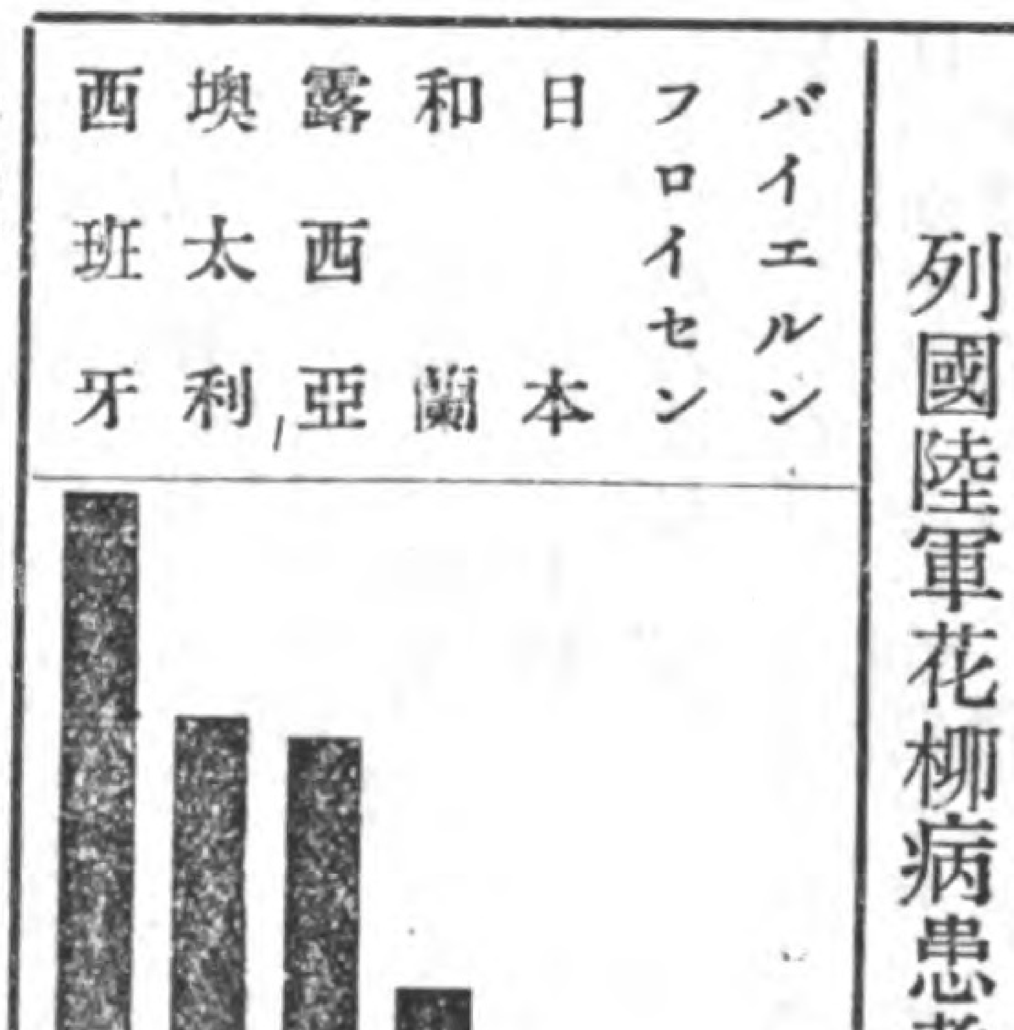
（一） 陸軍に於ける花柳病の好傾向

私は七年前、最近八ケ年の統計を基礎として『陸軍に於ける花柳病』といふものを書いた事がある。其時の結論に(一)陸軍の花柳病は千人中四十六、四人で(二)梅毒は二十六、三人に當り(三)花柳病患者一年の數は五千六百九十人の多きに達し、(四)平均一人の治療日數は廿六、八日で(五)之を延人員とすれば一年間十五萬三千人といふ偉大なる數に上り(六)花柳病の爲に不合格として歸郷又兵役免除となるものが千人に就き一年平均七人である。といふやうな事が分つた。

然るに今回調査して驚いたのは陸軍に於ける花柳病の著しき減少を示してゐる事である。即ち七年前四十六人であつたのが今日は二十人といふ異常なる減少である。之を歐羅巴諸國と比較すると、一番少いのが獨逸で、最近五年間の平均は下表の如くである。

然るに四十四年には日本は僅に二〇%で、將にフロイセンの壘を摩さんとしてゐるのである。

列國陸軍花柳病患者比較表 ‰



日本だけを師團別にして現今何處が一番多いかといふ事を調べて見ると、九州の師團が一番多い、即ち久留米の五八%を筆頭として次は中國の四〇%である。一番少い方は十三師團の高田兵で一六%、それから北海道の七師團、弘前の第八師團である。京坂地方や東海道は先づ中位である。過去五年間に著明な現象を示してゐるのは第七師團で、明治四十年以前と四十四年とを比較すると五分の一に減つてゐる、第八師團も四分の一以下に減つた。此五年間の平均數を各師團の成績で比較すると、一番多いのはやはり第十八師團(久留米)で

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

次は第六師團(熊本)第十四師團(宇都宮)で、以上は何れも千人に對し十人以上の患者數を示してゐる、最も梅毒の少いのは第十三師團(高田)で三、八%である。

(二) 驚く可き壯丁の花柳病

今度は徴兵檢査を受けに來た壯丁の花柳病を調ぶると

四二年	二三、四八	四三年	二七、一〇
四四年	二五、二五	四五年	二五、二年

之を平均すると(四十二年以前は統計がない)千人中二十五人、二六となる。それなら壯丁中何處が一番多いかといふ事を聯隊で分けて見ると、佐賀の五一%が最高で、高知、神戸、大村、松山、之に續き、何れも四〇%以上を示してゐる。少い方では村松聯隊區の九、三五%が第一で、福島、若松、青森、旭川、札幌、豐橋といふ順で、何れも十五%以下の數である。更に之を大きくして府縣別にして見ると、一番多いのが高知の四六、三%、それから長崎、佐賀の四五%以上である、少い方から行くと福島の一一、三%之に稍多いのが山梨岩手、新潟等で一五%以下である。

師管と師團とは大體に於て患者數が一致してゐる。但し支那在住の壯丁になると驚く可し百人中百人の患者で、花柳病師團が出來さうな勢である。續いて關東州、朝鮮、臺灣で、何れも百人中五十人以上の患者を有してゐる。

而して此壯丁の平均數二五、二六といふものと軍隊の四十四年に於ける二〇、八九と對照して見ると又驚く可き差を見るのである。壯丁は徴兵檢査を受けに來た唯一日の數であるが、軍隊は一年を通じて見た數であるから、試に壯丁の此數から換算して見ると、軍隊は千人中一、九三が一日の數になる、之を以て壯丁と對照するのが最も確實に近いのであつて約十三倍になる。軍隊一年の二〇、八九に對しては壯丁は約二百八十人ある勘定である。これは軍隊よりも一層自由を有してゐる壯丁の事であるから當然の事で、或は遙にそれよりも多いだらうと思はれる。

今千人中二百八十人といふ此壯丁の花柳病を病類別にすると、梅毒が五一%、痳疾が六七%、軟性下疳が五一%である而して軍隊は梅毒が五%、痳疾が九%、軟性下疳が六%、である。更に之を列國軍隊に比較して見ると、梅毒の一番多いのは露西亞の一六、五%、次は墺太利一五、九%、それから日本の七、二%で佛蘭西之に次ぎ、和蘭は僅に五、三%、プロイセンが四、八%、バイエルンが三、二三%である。痳病はバイエルンの一〇、四七%最も多く、少いのは和蘭である。

(三) 花柳病の軍隊に及ぼす影響

花柳病の軍隊に及ぼす影響は、

第一、兵の減耗である。花柳病に罹ると其症狀によつて軍隊から除役するとか歸鄕を命ずる此除役の數が一年平均一、三六%で、歸鄕を命ずるのが七、一九%である。兩者を合して千人中八人半といふものは花柳病の爲兵が減るのである。而も此數は反對に增加の傾向を有してゐる。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

第二、教育上の影響である。罹病して治療中の兵は教育を受けないのであるから、之が平均毎年五千七百五十人といふ多數に上り、之を日數にして一萬八千三百六十日といふ數になり。一日に四百九十四人といふものは、兵の教育を受けないといふ事になる。

第三、經費の損失である、前記の人員即ち毎日四百九十四人といふものは全く不生產的であるのみならず、藥を飮んで手當をして貰つて遊んでゐる。之を金額にして一年に約八萬圓といふものは陸軍兵の花柳病に損失してゐる。之によつて假りに壯丁の一年間に於ける花柳病の治療費を積つて見ると約十三倍であるから、驚く可し滿二十歳の青年一ケ年の花柳病に對する治療費が百萬圓に上る。獨逸ではフロイセンの軍隊丈が一年に十二萬圓費してゐる、全體では年に四千三百萬圓といふ巨額を投じてゐる。

（四）公娼廢止は贊成

徴兵檢査に合格したものが、入隊してから花柳病の爲に歸鄕を命せられるとか除役を命せらるゝ者に就て、罹病の時期を調査して見ると、合格後入營迄の間に感染したものが八〇%であつた。之は軍隊を不自由な窮屈な處として、今の內に道樂をして置けといふ樣な考から起ることであらうと思ふ

陸軍に於ける花柳病の總數は十二ケ師團の常時五千六百四十人であつたのが、十八師團になつて即三分の一の兵員を增加したる今日尚五千七百人に止つてゐるのは非常な成績であると思ふ。之を延人員にしても、三十九年には十二ケ師團で十五萬三千人であつたのが、四十四年には十八ケ師團で十八萬三千人であつて何處へ出しても耻しくない成績である。然らば壯丁の方は如何といふに、千人中二百七十人で、梅毒丈でも五十一人ある。歐羅巴では千人中百六十人乃至二百人である、其內梅毒が千人中二十位で、之が歐羅巴に於ける大都市の比例になつてゐる。

玆に砲兵工廠の職工志願者を調査したものがある、之を第一師團の壯丁と比較すると二倍乃至三倍の患者數を示してゐる今之を職業別にすると斯ういふ結果が現はれる。

水夫	二二五	勞働者	七五	無職	五〇
奉公人	一〇〇	商業	七〇	學生	二〇
工業	八〇	農業	六五	其他	七〇

一體花柳病の對象たる賣笑婦といふものは、集娼よりは散娼になる傾向があるやうに思ふ、二三年前萬國廢娼同盟會のグレゴリー氏が、陸軍省に來て救世軍の山室大佐の通譯で、集娼制度の歐羅巴に於ていけなかつた話をされた事がある。私は日本の今日の吉原の如き有樣は決して國の自慢にならぬと思ふ、檢黴法は極少い數であつても豫防の一端を示してゐるものがあると信じてゐるから、檢査といふやうな事は私娼にも出來るなら、公娼の廢止は至極贊成であるといふ樣な事を答へた事がある、東京は勿論日本の各大都市は歐洲のやうに公娼が減つて私娼即散娼が殖えつゝある現今の趨勢で、軍隊に於ては年々減少の好傾向を示してゐるのであるから、此際地方有志諸君の硏究と努力とに俟つて、此害毒の益々減少せん事を希望して止まないものである。

2−170

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

海軍兵と花柳病の關係

海軍々醫少監　大貫安三氏

左は國家醫學會に於ける講演の大要である未だ校閲を經ず文責在記者

（一）海軍兵の生活と花柳病の關係

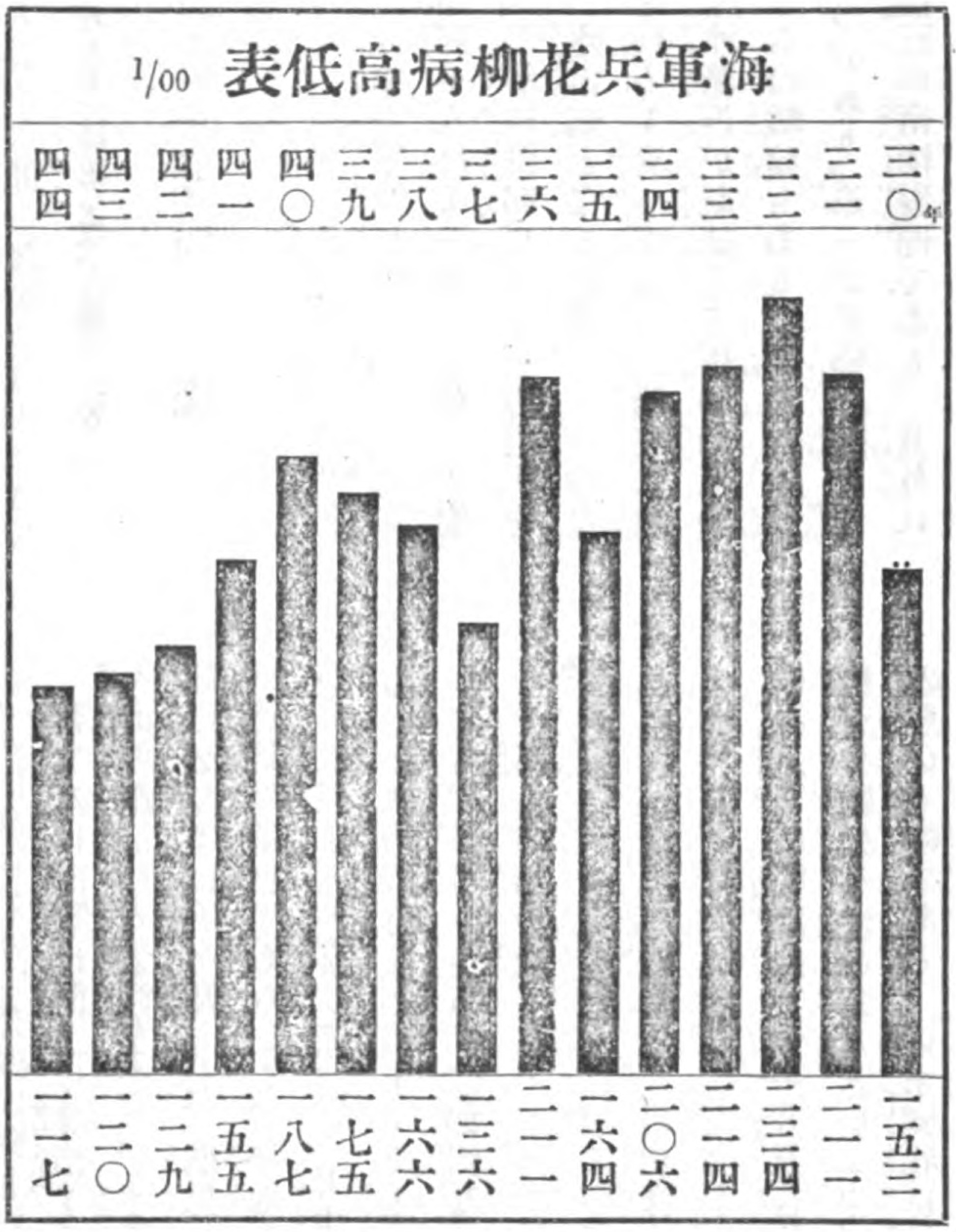
海軍兵の花柳病を語るに先つて、一通り海軍兵の生活狀態を明にして置く必要がある。元來海軍兵には志願と徴募の二種類がある。新兵は最初海兵團へ入れて一通り訓練して船に乘る樣にする。船と云つても一等戰鬪艦になると五百呎を超える樣な長大なものであり、水雷艇となると著しく短少なものであるから、生活狀態はそれ〴〵異つてゐる。船底に終日太陽を見ない勤務もあれば、水蒸汽が凝結して雨の如くかゝり雨具を被つて寢なければならぬ職務もある。船も方々廻航するもの、軍港に碇泊するものがあり、第一が常備艦隊で第二が朝鮮北清の警備に任じ、第三が南清警備である。其外に練習艦があつて候補生を訓練し、又豫備艦がある。兵の仕事は大砲の擊ち方とか、石炭の燃し方とか少しの休みもない、船の手入といふ事も重要な事で、十五年持つのが十三年しか持たなかつたり、或は每年十萬圓かゝる修理費が八萬圓ですむといふ風に容易ならぬ關係がある。

要するに海軍は海上に生活するもので、四五日間も水雲漠々海波渺茫たる太洋を走り、水天彷彿の邊り一沫の雲の如き島影を見ては胸を躍らし、櫛風沐雨狂瀾怒濤と鬪ふといふのが日常の職務であるから、陸地を踏むといふ事は海軍兵にとつては何よりの喜びで、いざ上陸となると人間の樣子が違ふ。激い暴風雨の時などボートで上陸するは非常な困難であるけれども、許可さへあれば如何なる波浪を冒しても必ず上陸する。何しろ船の上ではハンモックの中で窮屈な思をして眠り機關兵などは水線以下に寢るのであるから、疊の上に横はるといふ事は到底陸上の人の想像する事の出來ない愉悦で、夫に續いては眞水の風呂に入浴する事の渴望である、といふのは海上では鹽風呂で僅一升五合位しか眞水が渡らないから浴後充分鹽分を洗ひ去るといふ事が出來ない、之が非常に心地の惡いものである。近來食物は冷藏庫があるが舊式の船になると三日以上置かれないから罐詰を食はねばならぬ。罐詰といふものはこれを續けると罐の臭ひがして食へないもので、生物が食べたくて堪らないものである。從つて陸地を踏んで、眞水の風呂に入り、生物を食ひ、疊の上に眠るといふ事は彼等の無上の憧憬であり渴仰である。であるから外泊といふ陸軍

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

にないものを許さぬ譯に行かぬのであつて、廣島邊りに碇泊して、陸を見乍ら一月も上陸させないといふやうな事があると著しく士氣が沮喪する、外泊といふ事は職務の關係上止むを得ざるもので、碇泊中は隔日に許可する事となつてゐる。無論階級によつて三日とか五日とかいふ風になる。

上述の如き海軍兵の生活は勢ひ花柳病との接近を多くするのであつて、軍港といふものが普通の町と異つて來る所以である。軍港には多數の公娼の外に必ず夥しい私娼がゐて、公々然と營業をしてゐる。佐世保等は殊に著しく私娼の町がちやんとあつて、とう／＼其處を公娼にして了つた。横須賀ならば觀念寺、吳ならば瓦石といふ風に海軍兵の頭には直に關聯して浮ぶ、寄港地は神戶、長崎、大坂、青森、大連、旅順、芝罘、厦門、香港、新嘉坡等で、水雷艇や驅逐艦になると小さい港にも寄港する、小さい港と云つても夫れ／＼公娼私娼が具つてゐるし、兩々相俟つて海軍兵の花柳病は實に非常なる多數に上つてゐる。



（二）藥品と消耗品のみにて五萬圓

海軍に於ける花柳病は別表の如き巨大なる數字を示してゐるが、四十年以降漸次下降の兆あるは喜ぶべき現象である、三十六年に著しく上騰してゐるのは戰爭前で各艦の游弋が烈しかつたからである。三十九四十年は戰後の影響で、それから平靜に復し漸次下降の好成績を示してゐる。今普通の疾病と花柳病とを延日數にして示せば

普通の疾病

總治療日數	五六六、五一七
總入院日數	二八一、三四八
平均一日の患者數	一、五五一
平均一日の入院數	五九八

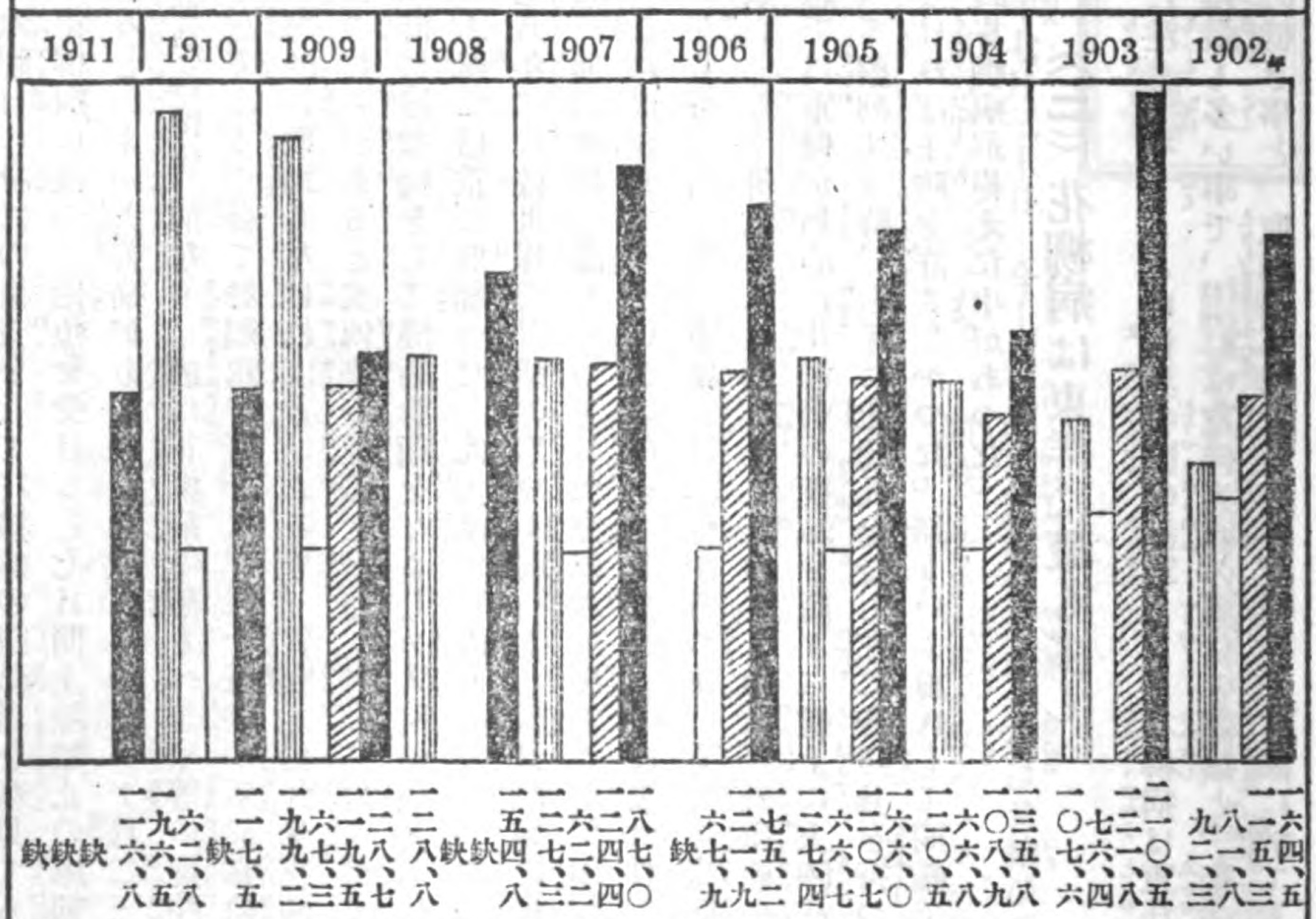
花柳病

總治療日數	二三六、三九七
總入院日數	九三、二八六
平均一日の患者數	六四七
平均一日の入院數	二五五

右の如き尨大な數が兵力を減殺し、經費を損失せしめてゐる。花柳病のみに要する一ケ年の藥品とガーゼ其他の消耗品代丈で五萬圓である、之を半額に減せしむる事が出來ると每年飛行機が一隻づゝ製へられる譯である、之に糧食被服を加

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

列國海軍花柳病患者表（毎千人に對する）



日本　英國　獨逸　亞米利加

備考　千九百九年より米國の著しく増加せるは取締が厳重になつた爲で従前の分は寧ろ事實に違いのである、日本は三日以上休むと此統計へ載る

海軍兵種別花柳病表　‰

年次	下士	卒	軍屬	囚人
三〇	四九、三	一七七、六	四四、二	二五三、六
三一	八五、七	二四二、六	三八、九	二五九、一
三二	九三、八	二七二、九	九五、四	三二七、五
三三	一〇四、三	二五〇、一	七三、六	二一六、二
三四	一〇三、三	二四一、九	六〇、一	二四二、六
三五	九四、〇	一八九、三	四四、八	三五四、七
三六	一〇一、二	二五一、六	四一、七	一六九、八
三七	六四、五	一五八、九	四三、二	一九一、九
三八	一〇一、二	一九〇、一	四八、九	二六二、一
三九	九八、一	二〇一、八	八二、〇	二六三、二
四〇	一一九、一	二一一、九	六一、一	二九三、六
四一	九七、八	一七五、三	三一、一	二五八、一
四二	七八、一	一四七、〇	四九、五	一九四、〇
四三	六八、九	一三七、七	二八、八	二〇九、七
四四	六三、四	一三四、七	四四、三	二〇七、四

花柳病患者病類別表

年次	痳疾	軟性下疳	横痃	硬性下疳	梅毒
三五	一、八九三	一、二八八	八六五	二五三	七〇五
三六	一、九五九	二、三〇三	一、三〇四	三四四	七三八
三七	一、六五九	一、四三四	八八三	二二四	八四八
三八	二、五八七	二、〇三七	九七〇	三四三	六九八
三九	二、一八一	一、九六三	一、〇八六	三七七	九四一
四〇	二、三五四	二、二六六	一、一六八	四六五	一、三〇七
四一	二、三〇三	一、九四二	八五〇	三九九	一、二七四
四二	二、二一七	一、三三八	七八三	三二六	一、一〇六
四三	二、二二九	一、一四三	五四六	三〇三	一、〇七七
四四	二、二四二	一、一一〇	六四五	三七八	九八九
平均	二、一六二	一、六八二	九一〇	三四一	九六八
治療延日數	六五、二六三	五三、九〇〇	五一、八〇〇	一三、三〇〇	五二、一三八

算すると實に莫大な金額に達する花柳病の爲に國家は海軍のみでも斯ういふ大なる損失を蒙りつゝあるのである。

それならば海軍の軍醫は一體何をしてゐるかといふと、每月第一木曜日に身體の檢査をして花柳病の隱蔽者を發見するこれは花柳病に罹つて治療を受けると七日間上陸禁止の處罰を受けるといふ一大苦痛があるからで、それから一ケ月二三回急性熱性傳染病なり、或は花柳病の恐るべき事等の衞生講話をしてゐる。嘗て舞鶴鎭守府では、三十五年の新設當時茲で理想的に取締らなければといふので、警察と打合せ花柳病に罹つた者があると其傳染の徑路を尋ねて警察に知らせる警察は直に檢黴醫をして健康診斷をなさしめ入院治療せしむるといふ風に嚴重に取締つた。此方法は可成有效であつた。三十七八年には佐世保で私娼の取締を勵行し、藝妓酌婦の類をも月一回の健康診斷を行つて、大分患者が發見された事がある。これは果してどういふ變化を示したか數字に表はれてゐないから分らぬ。又各軍艦には酒保があつて、そこで豫防具を販賣した。併しこれは賣れなくなつて了つた。戰爭前に吾妻艦では軍醫が熱心に花柳病の撲滅を圖り、艦上に上陸札を持つて整列する時、右手に上陸札を持ち左に豫防具を持つてゐなければ上陸を許さなかつた。斯ういふ風にして同艦では一時花柳病が絶えた事があつた。

〈三〉 花柳病は東洋に最も多し

茲に注意すべきことは世界各國の海軍とも、花柳病は東洋方面に最も多い事で、これは東洋方面の風俗の頽廢と、衞生思想の低き事と、取締の不充分を語るもので、英國に於ても殖民地殊に印度を中心とせる東洋艦隊に多く、亞米利加に於ても亞細亞艦隊が一番多い。

列國海軍中花柳病の最も少いのは佛蘭西で、統計を示す事が出來なかつたが、千人中三十幾人にしか過ぎない。之に反して最も多いのは亞米利加で、一九〇八年から同國の軍艦では、上陸して傳染の機會に接した者は歸艦後直に秘密に誰にも分らぬやう消毒室に這入つて消毒法を行ふやうにして、好成績を擧げてゐる。日本でも之に倣つて昨年の春から類似の方法を始めた。併し何分にも日本の海兵は歸艦早々種々な雜役が多く、此消毒法を行ふ餘裕が充分にないから、果してどういふ成績を示すかまだ一年經たない事であるから材料も擧つてゐないが、或船では良好であるといふ報告が出てゐる。

如斯世界各國とも花柳病の爲に兵力を減殺せらるゝ事に就ては非常に苦心して色々の方法を講じてゐるが、海軍兵に著しく花柳病の多いのは給料がいゝからだと論ずる人がある。實際海兵は陸兵に比して甚しく率がいゝ、日本では上等兵に當るものが一日に二十六錢で、それに一等賞狀を有つてゐると五錢の增がつき、航海をすると一日三錢の手當が出る。各國の海軍共殖民地殊に東洋邊りに來るものは割增手當がある。然るに東洋は物價が廉直だから自然贅澤が出來る。餘裕は人間を遊蕩に導くといふ、確に之は一因である。懷が裕であればどうしても酒や煙草の樣な刺戟品も多く攝取し、賣春婦に接する機會も多くなる、と云つて給料を減ずるといふことは苦しい職務にある者に對して殘酷な處置であるから豫防法は之を他に講せねばならぬ。敢て諸君の御研究を煩はす所以である。（三月廿五日）

寄書

喞貸座敷業者町會議員に選出さる

栃木縣矢板町　A　M　生

昨年七月三十日　今上天皇陛下踐祚の聖式を行はせ給ひて萬世一系の皇位に卽せられ、同時に世を大正と改めさせ給ひしことは全國民の熟知する所である。思ふに年號は　聖上陛下の御理想の標的語であつて、無意義のものでない事は國民の等しく認むる所であらう。然らば大正とは何ぞ、卽ち大とは偉大雄士の意、正とは正義公道公正の意と思ふのである。徼臣伏して拜するに　今上天皇陛下は我が大和櫻國をして更に偉大にして且つ正義公道の發揚する國たらしめ給はんとの大御心よりして斯くは命名し給ひし御事と拜して疑はない。然らば吾人臣民たるものは造次にも顚沛にも其深厚なる大御心に答へ奉るために粉骨碎心すべきは言を待ざることである。

然るに喞喞何事ぞ御發表以降日尙ほ淺き今日、栃木縣矢板町に於ける議員選擧に貸座敷業者坂主和三郎なる者一級議員として選出せられしとは！そも貸座敷業者とは何ぞ？斯業元より我政府が税を課して公許せる一營業であるかなれども、其實質に於ては明治五年に已に葬られたる女郎屋と何等異なる所なき、憎惡すべき商賣？であることは世人の熟知せる所である。貸座敷業者彼は人權を無視し我が血肉を分てる　陛下の赤子なる可憐の女性を、黄白以て恰も南北戰爭前に米土に於て行はれたる奴隷制度の如く其自由を束縛するのみならず、自己の腹を肥さん爲に強制的に女性の生命よりも尙ほ尊貴すべき貞操を賣らしむる所の惡みても尙ほ餘りある人非人ではあるまいか、昔し武士制度の盛なる頃彼れを呼ぶに亡八の名を以てしたのである、亡八とは何ぞ？仁義禮智忠信孝悌の亡きもの卽ち倫理道德の觀念なき獸類と同一に見做されたのである。

嗟呼滿天下の憂國者諸君！其の亡八が今回議員選擧に於て端なくも一町の長者として選出されたのである。一町の一級選擧者なる有志家が亡八を議員たらしめたのである。此は實に由々敷一大事ではあるまいか。水流の源泉濁りて下流の濁るは必然の理にして異論なきことであるとすれば、一貸座敷業者の選出は延いて地方風敎の上に多大なる惡影響を及ぼすことは火を見るより明白である。試に想へ地方人心敎化の職にある者が口端泡を飛ばし倫理道德を講ずるも一方に於て倫理道德を無視する者が師表者として仰がれ居らば其結果や識者を待ずして知る可しであらう。又敎導の任にある者が地方青年男女に敎ゆるに貞操の嚴守すべきを說くと雖も、若し地方長者たる可き者が金錢を以て貞操を切り賣する者であつたならば、其の敎訓に何の權威もなきに至るではあるまいか。兒童敎育者は長者を敬せよと敎ふる、其の地方長者殊に己が

2－176

寄書

學校と直接關係ある町會議員たるを以て貸座敷業者を尊敬するに至らば、無心なる兒童に如何なる印象を與ふるであらうか？今や上下一般劣情の火焔旺盛にして貞潔の松林燒き盡さんとしつゝある慘狀に於て今回の如き事あるは、恰も其火焔に油を注ぐのである。國家に取りて恐るべきは政治界に於ける無政府黨員であるが、更に怖る可きは倫理道德界の無政府黨員である。吾人は憚ず言ふ、人道を無視する亡八を選出する選擧員も亦賤業者自身も、國民道德を毒する道德界のナハイレスターであると同時に 今上陛下の下し賜ひし大正の理想標的を實顯せんために努力せざる、否な、大御心を無視し奉る不忠の臣なりと。吾人は徒らに言論を好む者にあらず國家を想ふ一遍の赤心驅つて默することを許さないのである吾人は如斯選擧民が一日も早く覺醒せられんことを切望すると同時に、天下憂國の志士諸君に訴へ、我が國に於ける道德界の危險思想を鏖滅するために、更に一層奮起せられん事を願望して止まざるものである。

阿部野遊廓移轉に對して

大阪市外天下茶屋　默羊生

本村は近々二三年前より長足の發展を爲し、人口は優に壹萬五千に垂んとし戶數は實に三千を超過し本村を分つて大字阿部野と大字天平寺とし、俗に一般の通名を天下茶屋と稱し（此の內には接近せる勝間村及び今宮村も天下茶屋と云ふ）、市人にして郊外生活を爲す者は日に月に多くなり、大阪市街との交涉益々繁くなると共に交通の便開け、着々發展し來る裏面には亦だん〳〵と淫風汚潮が入り込んで來た樣子だ。其れに連れて肉感的の機關は遺憾なく調つて居るが、精神界の機關としては、日基の天下茶屋敎會があるばかりだ。斯くの如く入込人の多きが故に一般的の村の靑年會の如き會はなし故に余は有志者と共に近々活動し乃木靑年會なる團體を起す考へである。余は何時までも田家質朴の美風を存したいと思ふ。然し乍らだん〳〵と土地交通の發展上、云ふ可くして行い難い問題であるが、聞く處によれば、近來例の問題たる遊廓を又復阿部野へ移轉するとか云ふ噂を聞いた。

嗚呼余は起つて反對せん、村の風儀上のみならず、既に我々の同志は公娼制度の全廢を當局者に迫つて居るのだ。政府自ら喧しく云ふて居る所の國民道德が、健全に發達するや否やを宜しく靜かに考へて貰ひたい。大阪市中に遊廓が有つては大阪市の顏に關するから、市外に移轉させろと、ある政商連中は多くの候補地に爲る地所を買入れて、これを高く賣附けんとの計畫であるさうな。噫彼等の心中の醜劣なる、彼等は實に國家の前途を思はざるの甚しきもので、唯私腹を肥さんとして居る外、少しく國民として國家の事も冷靜に考へて貰ひたいと思ふ。尤も移轉などの事は萬々あるまいと思ふが賢明なる大久保知事にして若しも認許を與へんか、吾人は起て正義人道の爲に飽迄も、大に奮戰せん考である。敢て識者の一考を煩はし度い。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

雑誌の雑誌

○宗教

▲宗教的氣分とは何ぞ

吾人は宗教的氣分を尙ぶ者である。宗教的氣分即ち心靈的情調の豐かなる生活を送る者にして初めて眞の宗教家と云ふことが出來る。實生活の時々刻々の刺戟や衝動にのみ心を奪ばれ

▲刹那的の生活 に全く沒頭して瞬間々々の境遇や欲求に適應する生活の理法を見出さんとして徒へ苦んでゐる人々ほど氣の毒な者はない。彼等は現實に生きると稱するが、併し抑も現實とは斯くの如き刹那的斷片的なる欲求の連續に過ぎぬであらう乎。吾人は人生には悠久にして超越的なる意義が含まれてゐると信ぜざるを得ない。刹那々々の要求を充さんとする謂ゆる實生活の充實なるものは、其刹那々々の要求に超越せる永遠無窮の靈性の渇仰憧憬の滿足に依てのみ初めて實現せらるものと信ずるのである。更に言へば宗教的情調の滿足によつて時々刻々の生活に一種の餘裕ある、寛ろげる、悠久の味ひある色調を帶び來つて、茲に於て高き平準より靜かに嚴かに人生を見下ろす事が出來、譬へば相當の間隔をとつて物の眞相を正視することを得る如く、人生の眞意義に徹底した見解を抱くと同時に、其抱懷する徹底せる人生觀に立脚して（更に宗教的に云へば信仰の立場に立つて）雄々しく人生の活劇場裡に健鬪する事が出來るのである。吾人は宗教的氣分を解して、

▲悠久無限の心持ち 現世に處して而かも永遠の世界に住し、現實に即して同時に現實に超越せる一種の餘裕ある情調色彩ある生活味であるとした。此種の生活味は或程度まで藝術によつても哲學によつても與へられ得るであらう。近頃氣分の藝術とか氣分の哲學とかが唱へられるのは此事の可能なるを證明して居る。併しながら「美」を對象とする藝術の世界も「眞」を對象とする哲學の世界も「善」を對象とする道德の世界も、未だそれのみにして人生の眞の要求を滿足せしめる事が出來ぬとすれば（而してそれは不幸にして事實である）然らば宗教は藝術も哲學も將た道德も成就し得ない一大使命を有して此世に存在する人生最後の堡壘ではあるまいか。果して然らば宗教的氣分は凡ての眞の藝術、眞の哲學、眞の道德に缺ぐべからざる要素であつて、謂はゞ宗教は是等一切の方面を包括して之が基礎となり原動力となる所の根本的生命である。宗教的氣分は

▲人生最高の情調 である。是なくして現實生活は大部分無意味である。是なくして內的生活の充實を叫ぶは、水中の月を掬へんとして徒へる猿猴の愚かさに類してゐる。（基督教世界）

▲靈交し靈化せよ

天地萬物又は人類に依りて神を知るは、宛も著作、事業に依りて人を知ると同じく、唯觀察推究に依りて神に關する或る眞理を知ることを得るのみにて、未だ有心者たる神自らを知りたりといふべからず。神自らを知らんとせば、朋友を知ると同じく直接に之と交通せざるべからず。基督教の所謂

▲聖靈の交はり とは即ち神と直接の靈交を言へるものにして、吾人の所謂聖靈を受くるとは、此人格的交通に依りて神我れに在り我れ神に在り、斯くして一切の不淨は潔められ、一切の不安は去り、神子の自覺を得て一箇渾厚の和氣中に自適するの謂に外ならず。故に吾人の神を知るは、單に神の聖業に依り若くは論理的推究に依りて神の性質を知るの謂に非ず、自ら神を見、自ら神に接して、神自らを知るの謂なり是れ即ち宗教的生活を爲すもの丶特權にして、單に道德的生活をなすものは、天地の原因、道德の本源として神を認めざるに非ざれども、彼等に取りては神は尙一個の冷なる眞理にして、之と

▲人格的交通 をなすが如きは彼等に求むべからず。從て彼等は道德上の眞理を單に眞理として行はん

と努力するに過ぎざれども吾人宗敎的生活をなすものに在りては道德上の眞理は單に眞理に非ずして一箇の人格的存在なり。故に吾人は此の人格と靈交し之と一致し之に同化せんことを求め、而して其感化を蒙り、其生命に與り、遂に之と一致し同化するを得るなり。吾人は果して能く神と靈交しつゝありや、果して能く靈化しつゝありや。吾人須らく反省一番せざるべからず。（護敎）

○社會

▲人類の前途に橫はれる大問題

伯爵 大隈重信

我國民は將來如何に發展するか、優勝劣敗、適者生存の大理法の行はれる今の社會に處し、我國民は果して優者たり適者たるを得るか、又我國民は如何にせば來るべき辛苦艱難に打勝ち發展するを得るや。これは實に重大なる問題である。國民は如何に之を事實上に解決するか

▲學者の研究 によれば世界の人類は三百年の後遲くとも五百年の後には非常に困難なる境遇に陷るといふ。全世界の陸地は約六千萬方哩の廣さあり、而して今日までの人口增加の率を以て將來も尙增加するものとすれば、今後三百年間に白晳人は著しく繁殖し、土地の全部を併呑するに至るといふ。

▲白人が地球の全陸地を併呑 したとしても之に必要なる食物がない。生存に必要なる食物及び物資は主として土地の生產に仰がねばならぬ。然るに限りある土地の力を以てしては、激增するこの人口を維持することは出來ぬ。結局世界は生存に必要なる食物其他の物資の缺乏に苦しまざるを得ぬのである。この困難に打勝ち、之を救濟する唯一の方法は科學の進步發達に待つの外ない。人類は何等かの科學的發見により、新に食物を得るか、或は又土地以外の海又は其他の方面より生存の必要物を求め、以て土地不足の窮を脫することを講ぜねばならぬ。この問題にして解決せられざれば、世界の人類は三百年、遲くも五百年の後は、土地の不足、食物缺乏の壓迫を免れざるべく、白人以外の國民の如きは早く旣に滅亡するであらうと稱せられてゐる。種々なる事情の作用によりこの事が果して事實として現はれるや否やを知らずと雖も、限りある土地を以て、限りなき人口を維持することは將來に於ける一大問題である。（實業の日本）

▲學閥は日本の特產物

安部磯雄

此頃は藩閥黨閥閨閥などいふ文字が、切りに使用されるやうになつたが、何と言ふても、凡ての閥の基礎を形造つてゐるものは學閥である、而して弊害の最も甚だしいのも亦學閥である。學閥といふのは、

▲全く日本獨特で 世界に類例を求むることが出來ぬ。先づ英國は如何と顧みるに、英國の靑年は牛津である劍橋であると言つて社會に勢力を扶植し、甚だしきは相排擠して進むかといふに、決して左樣な事はない。靑年が學校を出て社會に打て出る時に當つて、出身學校の如きは忘れたやうに、更に眼中に無い。米國に於ても亦然りである、米國人で、俺はハーヴアード出身だ、エール出身だなどと吹聽して步く人を、曾て聞いたことがない、學校は社會の共同機關で、出身學校などは如何でも宜い、腕次第で社會に出て戰ふといふのが即ち米人氣質で、學位稱號などを笠に着るやうな事はせぬ。獨逸人に至つては、テンデ何處の學校に居たなどゝいふ事を、問題にして居ない。獨逸人は唯だ一の學校に三年も繼續して居るといふことは決してない、一年宛他校へと轉じて行つて一校に執着しない。佛蘭西の事情は能くは知らぬが、之れ亦同樣に思はれる。然るに日本のみ、何が故に

▲出身學校を八釜敷 言ふのであるか、之れは重大なる研究問題である。官吏であれば帝大出身が最大の勢力を占め、敎育界であれば茗渓派と赤門派と共に對陣して、それに幾許か私立學校出身も加はつて居る。實業界は、一方に慶應派あれば一方に高商派がある。新聞雜誌界文藝界等には、早稻田派が勢力を占めてゐるものゝ、大分混戰の狀態である。斯くて各學校の卒業生は、怎那事を氣にして互に勢力範圍を爭ふてゐるのである。憂ふ可き根本原因は此處に在る、敎育界の黨派心さへ絕滅すれば、社會全般の閥弊も自然と消滅するのであるが、敎育界の學閥は延いて、社會全般の惡影響となつて現はれる。何故に吾等は日本人たることが出來ぬ乎、出身學校といふが如き小さな黨派心を捨てることが出來ぬ乎。吾等は學閥の因つて起る所以を研究して、根本的廓淸を企てねばならぬ。（實業の世界）

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

▲容貌の勢力

三輪田元道

▲新らしい風潮として、歐洲あたりには、人種改良と云ふ理論が起つて居る。これは進化論から考へてもメンダリズムから云つても、多少理窟はあるが、體質の健全な者とか、賢明なものとか云ふのならば結構だが、たゞ外貌の美を尊ぶに過ぎないならば、この改良は失望に終るであらう。こんな事が婦人の容貌を尊ぶと云ふ事に多少は關係するが、これと同じく外交的の事實も亦影響が及んで居る。容貌の勢力は實際著しいもので、外交問題も之によつて決せられた例も少くはないが、普通社會の交際上に於ても亦侮りがたいところがある。即ち男子の目を喜ばしめること、また人種改良外交と云ふやうなものがからんで斯く容貌を尊ぶ事になつたらしい。それゆゑ結婚する人がかう云ふ事を云ふのは、强ち無理でもないかも知れぬ。けれど吾々の眼から見れば

▲人間は精神生活に重きを置くもので、體は精神の家である。そして家よりも住む主人が尊いのと同じく、外貌よりも精神を尊ぶのが至當である。從つて常識を備へ、趣味を有し、萬事相談するに足ると云ふ事が最も大切である。將來はこの邊に重きを置いて貰ひたいが、まだ大體の傾向がその點に進まないのは甚だ遺憾である。

〇思想界

▲思想界の傾向

▲歐米の哲學や藝術が近年著しく心靈的宗敎的の色彩を帶び來つた事は、オイケンやベルグソンが謳歌される一事でも判かる。然るに此思潮は又著しく社會學の方面にも横溢して全く昔日の觀を一變しつゝある

▲獨逸の社會主義の領袖ベルンスタインは今や其マークス主義を一變して其主張は唯心的宗敎的方向に轉じつゝある。ツレルチ敎授は獨逸の社會を最も能く解してゐる學者であるが、社會主義の信者はやがて基督敎の信者に改宗する時が來りつゝあると言つてゐる。白耳義のヷアン、デル、ヴイルデは全然宗敎の味方であり、伊太利のギセツプ、レンジは倫理的社會主義の鼓吹者であり、アンゼロ、クレスピ博士は社會主義の埒内から脱して

▲心靈的社會觀を唱へ基督敎の宣傳者となつた。更に佛蘭西ではシンヂカリストの首領ゾーレルは曰く「吾人の後繼者の興味を最も多く惹く問題は、科學と宗敎との關係問題たるや毫も疑ひがない」と。「進歩の幻想」と題する彼の著書に於て、彼は十八世紀の不信仰なる百科字典學者を痛罵し、道德的克己と心靈的偉大とを極力推奬して居る。歐洲大陸の極端な社會主義者の思潮が今日斯くの如く變化して來た位であるから、まして英米の進歩せる學者の頭腦は殆んど宗敎的に一變したのは怪しむに足らぬ。謂はゞ宗敎無き科學哲學道德其他一切の人生活動の破産とでも稱すべき現象である。言ひ換へれば歐米思潮界の

▲宗敎的興味が非常に强くなつて來た。而かも興味は宗敎の理論の方面ではなく實際の方面である。宗派心は衰へ宗敎心が盛んに成て來た。(基督敎世界)

▲和歌の心理的研究

三井甲之

先づ歌といふものゝ本質に就て述べて見る。本質といふ概念は用ひたくないのであるが不必要なることを一切省略して、といふ位の意味にして此の概念を用ひて置く。「うた」は精神の興奮した時反省なしに瞬間的に發せらるゝ言語である。これが一切の言語的藝術の根源となるのである。その表現は緊密であることを特色とするのであつて、高められたる情緒と感情から自然あふれ出づるが故に此の特色を得るに至つたのである。故に自ら諧調と節奏とを有する表現を要求するに至るのである。そうして又自ら音樂的表現と近親の關係を保つて發展しつゝあるので、常に感情情緒が表現の動機となつて居る點に於て他の藝術的表現の形式と區別せらるゝのである。

▲此の感情の表現が「うた」の本質的特色である。此の瞬間的感情の表現は元來個人的表現であるけれども一方共通の情緒の遍滿することゝ傳習の勢力とによつて此の個人的表現は社會的表現となり民族的創作となるのであつて、それが戰鬪のうた、一般勞作皷舞のうた、歡喜、悲哀、嘲笑等のうたが節奏的言語によつて表現せられ、こゝに直接的表現の眞實と渾融力とを以てその生命を内に包んで居るのである。これを記紀萬葉の歌について述べて見ようと思ふ。

▲此の『うた』の本質が記紀萬葉の歌にあらはれて、古今集新古今集等にあらはれぬことは以上のう

たの本質を理解することによつて首肯せらるゝのであるが、又一方その文學成立の外的條件からも論じ得らるゝのである。すべての藝術はそれを生んだ文化の情態に依立するものであつて、ある種の藝術があらはるゝのはその條件としてそれと相應する文化の開展情態を背景に有するのである。それで古今集から新古今集に至る間の歌は宮廷又は都會生活を背景とするのであつて、記紀萬葉の歌が全民族的生活に觸れて居るのとは異つて居る。記紀萬葉の歌でも主として敎育ある社會の創作であつて宮廷と中央との文學ではあるが、しかしそれを平安朝の文學と比較する時は民族移動の動亂を内に潛めた精神がこもつた歌があるので、こゝに『うた』の本質が認めらるゝのである。(日本及日本人)

(○談叢○)

▲花と大阪趣味

田中白茅

「梅窓近南すべく北すべく」。新梅屋敷の梅、天王寺公園の梅、社々寺々、家々の梅、白に紅に、紅に白に、寒月に輝き、晴日に磨かれ、清香浮動し來つて、八百八橋、春風吹き滿つ、郊外に出づれば、西に岡本の梅あり、南に金熊寺の梅あり、東に平岡、道明寺、遠くは桃山御陵一帶の梅林、山村水廓酒旗翻々として、皆大阪人の來るを待つ。

「浪華津に咲くやこの花冬籠り今を春邊と咲くやこの花」。こは博士王仁が、仁德天皇を讃へ奉つた歌と言ひ傳へてゐる咲くやこの花は、梅である。

「梅と浪華」。この印象は、高津宮の昔から、深く大阪人の腦裡に刻まれてゐる。梅は浪華の花である。大阪の花である。大阪に、櫻よりも梅が多く、大阪人が、櫻の色彩よりも、梅の色彩を帶べるは、蓋し、肝膽相照らす自然と人との默契である。

▲寒月梅花を照らす の高潔清美は、大阪人には、求めても得られない。されど屈せず、撓まず、よし孤高ならずとも、裸百貫、何等の阿附する處なく、寄託する處なく、獨立獨行の戰を續けて敢へて退轉せざるは、大阪人である。此の點に於て、彼は確に、彼等古聖人の特有した性情を有つてゐる。然り、大と小と、靈と物との差異あるのみ。

▲東京の誇りは櫻 である。東京は全市悉く櫻だ。土あれば櫻あり、櫻あれば花あり、庭といはず、園といはず、道路といはず、公園といはず、丘といはず、山といはず、悉く皆櫻だ、三百萬の市民は、櫻に埋まつてゐる。櫻は日本人の人情、風俗、好尙、氣質を代表する。就中、東京兒の總てを代表する。東京兒は、櫻の精である。櫻の權化である。

百尺の長幹花に現はれて、嶄然として群絲の間を拔き瓊葩芬郁として、霞の空に匂ひ、光り長閑けき春の日に匂へる風情は眞に優美だ。華やかだ。上品だ。瀟洒だ、ことに、春千山の花吹雪、颯と咲き颯と散るの壯觀に至つては、とても萬花の企て及ばざるところ、東京兒そつくりだ。梅は堅忍質實である。櫻の散り易く、挫け易く、一時的、火山的、馬車馬的なるに似ず頗る着實眞摯、毅然として風雪に抗し、壓迫に堪へ、雪痕千點、侵せども消し難しといふ堅節を持する。櫻は

天才の花で、梅は、努力の花である。櫻は、淡泊で粘り氣がないが、梅は執根強く、頗る粘り氣がある七轉び八起きは、梅の特色だ。勤勉努力は、大阪市民の家憲である。不言實行は

▲大阪市民の信條 である。大阪人は、贅六と嘲られ、素町人と笑はれても、常に隱忍して切々と働く。恰も梅が、衒はず、傲らず、谷陰に在つて、風雪と戰つて、實を結ぶに似てゐる。是れ大阪人が、三百年來日本の商權財權を一手に握つて天下を橫行濶歩する所以である。櫻は昔から大阪には尠かつた偶々あるものは、皆八重櫻である。大阪には、一重の山櫻は殆んど見ない。

上野にしても、墨堤にしても、小金井にしても、飛鳥山にしても東京の櫻は、皆一重である。所謂朝日に匂ふ山櫻である。潔よく咲いて潔く散る。されど、大阪の八重櫻は、頗る濃艷で、個人的の美に富み、壽命も亦長い。少々の雨風位には、却々散らない。頗る粘り強い。堅實だ。大阪に在れば、

▲櫻までが大阪化 するは、頗る奇である。蓋し散り易い、一重の山櫻は適者生存の理法に因つて、大阪の自然界から淘汰されて、耐久的八重櫻のみが獨り生存して居るのかも知れない。

浪華と梅、大阪と八重櫻、是れ實に、大阪の歷史美、自然美、人情美を發揮して餘蘊なしだ。(現代)

▲羨しいと思ふ道樂

小崎千代子

人といふものは、智識や趣味の廣くなる程、

▲道楽も段々に進歩　するものですが、ならして云へば、今や日本の婦人は、衣服を着飾り指環を輝かし、自動車を乗り廻すといふやうな種類の慾望は、上下を通じて殆どその絶頂に達してゐるのではないかと思はれます。女中がお嬢さんかと思はれるやうに着飾り、奥さんは何々夫人と云はれる際の方々のやうに、またその何々夫人は貴族の方々の扮裝を羨んで、不自由を知つてゐさうもない様に思はれる家の夫人まで、着物に苦勞をしない人は少いと聞いては、實に驚くの外はありません。それに比べると西洋人には、先に開けた丈けあつて、流石に變つた道楽がいろ〳〵有やうです。私は先日銀座教會のユニオンチヤーチの禮拜に出席して見ました。これは外國人のための集會で説教をする人も無論外國人ですが、私の行つた時は年頃三十二三の若い牧師が説教をして居られました。いゝ説教で、また力のある話し振りで御座いましたが、それよりも一層私の感動しましたのは、この若き説教者の背後に隠れて居る老夫婦です。この若い説教者と云ふのは、某老人夫婦に専屬した牧師で老人夫婦はこの

▲説教者を雇ひ切り　世界中を説教させてあると云ふのです。老人と云ふのは六十歳餘りの人で、始終ニコ〳〵してその説教を聴いて居りましたが、無論財産もあり何も不自由のない人でせうが、かう云ふことを企て、自ら楽しむと云ふのは餘程面白い事だと思ひます、かゝる種類の楽しみがあれば、自然衣服や何かに屈託するやうな事もなくなる譯だと思ひます。（婦人の友）

（○修養）

▲心の平和と幸福

鳩山春子

彼の有名なる英國の政治家グラッドストーンは、あれ丈け劇しい政治生活を續けて居りましたが、而も八十八歳の長壽を保たれたと云ふ事に就て、委しく其日常生活を調べて見ますると、如何にも修養の人だけあつて、

▲常に心の平和　を圖つて居られたと云ふ事は無數の例が之を證明して居るのであります。又ヘラーと云ふ學者の研究に據れば、百歳以上の長壽者は悉く下流の人々で、百姓が一番多い。その譯は安靜に規則正しく多忙な生活をして居るからだと申して居るのであります。其他英語の諺などを見ますると、國王とか貴族とか、何一つ不自由のないやうな方々が、鍛冶屋や粉屋や、乳搾りの人々が輕い心を以て立ち働き、夜は安らかな睡りを貪つて居る事を羨んで居る事が澤山に見えて居るのであります。（日本の婦人）

▲こんな女になつてほしい

麻生正藏

裁縫や料理の事と云ふものは、さして六ケしい業ではないから、無教育の者でも直ぐ覺えられる。況して精神の基礎さへ確かに出來て居るならば、どうやら出來ない事はない。たゞ反對に臺所的の事が出來れば精神の方面もやがて出來るかと云ふに、これは然う云ふ都合には行かない。

然るに婦人にしてこの精神的の方面が出來て居ないならば、

▲婦人の社會、家庭　に及ぼす感化は皆無になる。そこでこの根本教育の要求をみたす爲めには、人によつて佛教やキリスト教の如き既成宗教によるも宜からうが、何れにしてもその眞髄に觸れる事が必要で決して形式や種類を問ふ可きものではあるまいと思ふ

私の理想としてはこゝから割出された

▲愛の生活　を送る事の出來ると云ふ婦人が作りたい。自分の人格を知り、それを尊重すると同時に自分以外の人に、即ち夫とか、親とか子とか云ふ者の人格をも尊び、之を愛すると云ふ生活をする婦人となつて欲しい。婦人の愛は下等動物のやうな盲目的の愛でなく、自覺した愛、敬を含んだ愛でありたい。

次にはいつも希望に充ちた進取的の氣風を養ひたいものである。一般から云ふと婦人は他家に嫁ぐのであるが、これは或る意味に於て籤を引くやうなものであるから、どう云ふ籤を引き當てるか、又先へよつてどう云ふ境遇に遭遇するかも知れない。しかるに夫の病氣に辟易して逃げてかへると云ふやうなものでは仕方がない。どんな境遇にあつてもその境遇に應じた處置に出づる、人生のあらゆる問題は自分で着々と判斷、解決して行かれると云ふ力を養ひたい。物識りになる事は望まないが、理解力に富む婦人で、生きた問題の解決が出來る頭腦を作りたい。教育者の努力が足りないためか、どうもまだかう云ふ婦人の少ないの

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

は遺憾である。（淑女畫報）

○家庭

▲家庭と藝術趣味

山本正夫

宗教のことは先づ拔にして、日本の家庭には前に示した如く貧民の中にも、自然に這入つてゐる。もし美術の力を以て貧民の救濟を謀らうとしたラスキンなして、我國の貧民窟を見せしめたら、自分の主張が遠くの昔から日本に實行されて居たことを喜んだであらう。美術といふても、日本で一番普及して居るのは繪畫である。繪畫は色々に姿をかへて、貧民の間にも這入込んでは福音を傳へてゐる。茶碗の模樣となり、團扇の畫となり、蒔繪となり、近頃は繪端書となり、あらゆる形式を取つて、人民の敎化に、從事してゐる。併し家庭には尙此外に必要な美術がなくてはならぬ。それは何であるか、

▲美術の趣味 は非常に普及してゐる、

▲即ち音樂である 家に幾人かの子女があらば、其中には唱歌の出來る者もあらう。唱歌は子女の爲め非常によいものである聲音を上ぐること既に人間の氣を爽やかにすることである、高低長短の變化が伴はゞ實に何とも云へない暢やかな感がする、況んや其上に偉大な藝術美がある。無限の快樂は、悠々の心情が出來る、しかも音樂の樂しみは、其享樂の範圍頗る廣く、唱ふ人、彈く人、聽く人共悉く其樂を一にし、其快を共にする事が出來る、そして尙享樂の結果としては、心意に、身體に、又社會に最もよき影響が殘る譯なのである。

然るに殘念なことに、我國の家庭には、一體に音樂が普及して居らないことである。却つて、昔は裏長屋にも、三味線のやうなものではあるが、兎にも角にも音のしたものであつたが、維新以來、文敎振興に伴つて、三味線は、風敎に害あるものとして、非常に排斥されることになつた。實際公正な判斷で、これ迄下層社會で喜ばれた三味線の調子はいかにも浮いてゐて歌の文句も甚だ卑猥なものが、多かつた。併し三味線であるからとて卑しむべき理由は認められない、要は是を手にする人の人格問題である。（ホーム）

▲斯くあるべき女

藤生・貞子

▲平和な家庭を作り得る女 は、滿足な生涯を送り得る女は、如何云ふ條件を必要とするか、と云ふに「蒲鉾は如何して泳ぐの？」と云ふ一口噺的のお孃さんでは所詮駄目で、自分自身を知ると同時に廣く社會全般に觀察眼を向けて之れを理解し、尙常に自己を進め磨き擴げる努力を怠らない女でなくては駄目である。にそれなれば女としても、妻としても理想に庶幾い。それで小康に安んじ、狹隘であつてはならず、廣量な精神で野心も相當強くて欲しい。男子は妻の眞面目は望むが、

▲機械的てはならぬ に違ひない、時には問題を構へて夫と議論もやらうし、戯言の一つも云つて貰ひたいに違ない。何にしても社會一通りの事件に目を通して理解し、自己を擴張する事を忘れず、常に研究的態度を持してゐて欲しい。丸帶やお召の見分は付くが、自分の生きてゐる社會の狀態や、甚しきは我が子の心理の理解さへない樣では心細い。人妻は最早家の裝飾や人形や玩具ではない？

婦人に之だけの自覺を望む。「新しい女」の自覺とは此の意味でなくてはならぬ。（日本の婦人）

○育兒

▲親の習慣は子供の習慣

田中久子

▲子供の敎育は胎內 から始まるとか申しますが、實に幼少の間に、善き習慣をつけさせて置かなくては、迚も大きくなつてから、急に敎へられるものではありません。

私の知人に今年二歲になる男兒があります。其父親が每朝鬚を剃つて、其のあとへベーラムと云ふ水をつけます。これを見て居る子供も、やはり頰へベーラムをつけたがります。水を代りにつけてやりましても、水では却々承知せずに、やはりヒリヒリするベーラムを欲しがります。また此子が父親の眞似をして、ブラツシで、少しゝかない髮の毛をこすります。

これも私の知人に、顏をゆがめる癖のある婦人がありますが、其人の十歲になる男兒が母親と同じく顏をゆがめる癖を持つて居ります。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

私は氣の短かい方でありまして時々癇を起します處が或日一人の甥をつれて散歩をして居りますと、子供が俄にキー／＼と癇聲を張りあげて叫びますので、「何故其樣ことをするのです」と申しますと「叔母さんの癇が傳染つた」と申します。私は實に驚きまして、子供に私の誤を謝し、それ以來短氣を外に現はさぬことに致し、お蔭で

▲自分の惡癖を矯める ことが出來ましたが恐ろしいではありませんか、親の習慣はやがて子供の習慣となるのでありまして、父の樣な息子、母に似た娘が出來るのは無理ならぬことであります。

實に親の一言一行の如何に忽がせにすることの出來ないものであるかを知る事が出來ます。（婦人の友）

▲母親自身省みよ

跡見花蹊

▲子供は母親の影 だと申しますが、その中にも娘は一擧一動母親を眞似るもので、娘を見れば母親は大抵想像が出來るのであります。それ故に娘のよしあしは一々母が責任を持つのが當然です。私共が學校で生徒を預つて居るにしても、この娘さんはきちんとして居ると思ふと屹度そのお母さんは確かりした方ですし、どうも困つたものだと考へるやうな娘さんのお母さんは必ず無敎育だとか成り上りだと云ふのです。もう聞いて見る迄もなくよく分ります。學校へ遣つてあるから

▲家庭では構はない でもいゝなど〻考へて居るやうな母親でしたら娘はよくなりやうが有ません寄宿舍生活でゝもあれば兎も角、さもなければ學校は朝の九時から午後二時迄、あとは家庭にあつて母親を見習ふのでありますから、言葉遣ひでも、禮儀作法でも一々娘に數へると思つて、手本を示す積りでしなければなりません。よく自分處の娘は我儘で困るとか、母親を輕蔑するとか云ふ事をきゝますが、そんなのは全く母親が敎育の方法を誤つた爲でありますからよく／＼自分に省みて注意をする事が必要です（淑女畫報）

〔○臺所〕

▲紺絣に附ける糊の製法

◉蕨糊が一番宜しい●●●●●●●

紺絣に糊を附けますには、何んな糊が一番宜いかと申しますと、最上のものは蕨糊で、蕨糊に次いでは布海苔、生麩糊、米糊、小麥糊等でありますが、蕨糊は蕨粉凡そ五勺許りを三合位の水で能く練つて置きまして乳色になりましたら、釜に入れて二升位に增し、十分間程煮たものを、木綿の布で漉して使ふのです、それから布海苔ならば、八匁位を十五分間程水に浸して木綿の布で二回程漉して使用すればよいので、生麩糊米糊、小麥糊等は何れも水に解かして置いて、乳色の液になつたものに適宜の水を加へて、好く煮た後に使ふのです、而して何の糊にも、少し香味を附ける爲めに少量のスレンス背を混和するのが宜いでせう。

▲浸み拔きに就て

◉染物屋の瞞着手段●●●●●

衣類に汗浸みを拵へたとか、乳で汚したとか云ふ時に、染物屋へ浸み拔きを命じますと、大變高價な手間を取られますが其內實を聞きますと、實に馬鹿々々しいものであります、何故かと申しますと何かで浸みを拵へて、之れを染物屋へ渡しますと、簡單な浸みは綺麗な清水でチヤバ／＼と洗ひ、手の掌で温めて乾燥させ戸棚へ仕舞つて置いて、數日後に何うも遲くなりましすとサモ大層に持つて行くのです、彼れで浸みが拔けたのかと申しますと、染物屋はナニ浸みを拔いたのでなく、浸みの附近を汚して瞞着したまでゝすと云つて居ります、單に雨の爲め浸みの出來ました時には、霧吹器で水を吹き掛けて置けばよいのですが其の仕方によつて、霧吹きの爲めに反つて浸みを拵へる虞れがありますから、注意をしなければなりません、萬一霧を吹いて結果が惡るければ、洗張りをするより外に方法がないのです。

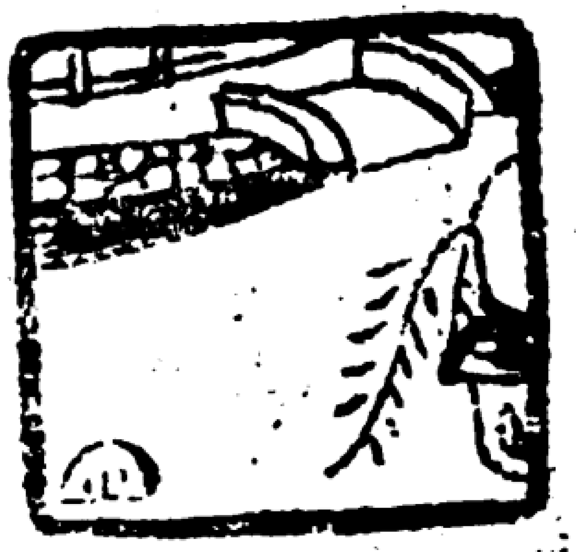
▲食用物としての豚肉

と申しましても同じ豚肉でも脂肪の多いものと脂肪の少い者のとで成分に差等があります、併し全體からすると蛋白質の量は牛肉には及ばないが、餘り脂肪の多くないものになると肥つた犢位に匹敵して居ります、若しも好き嫌ひと云ふ嗜好を離れて滋養の爲めに肉食しようとならば一般に價格の低廉なる割合に滋養分の豐な豚肉を使用する方、營養上から見ても經濟上から見ても至極得策であらうと思ひます、就中夏期から冬期にかけて體內に暖を取る爲め脂肪の多い肉食を必要とする時季に於ては豚肉の食用頗る利益多いことでありませう、豚肉は淡色にして纖維が細く脂肪に富んで居るが、前にも述べて置いた如く其の飼料一つで肉質が良くもなり惡くもなります、脂肪の硬くなる可き飼料を與へつゝ飼育した豚肉は一般に美味と稱されてあるが、さりとて餘りに脂肪の多過ぎる豚肉は消化がよろしくない、豚肉の最も旨く味はれるのは生れて四五週間位經つた養ひの良い仔豚であります、豚は各國共に臀部及背部の肉を最上とし、頸脚部の肉を最下等として居ります、又た腿の肉をばハムと云ひ腹部の肉をばベーコンと云ひます。農學博士澤村眞君

Digitized by Google

Original from COLUMBIA UNIVERSITY

雜纂



米國の娼婦撲滅運動

市伽古の公娼撲滅
夜半傳道會長　アーネスト、エ、ベル

此れを書く時には最早彼の市伽古大火以來吾市行政府の免許を得たとは云へ、何所迄も神聖なる法律を無視して勃興したる遊廓は、閉鎖せられて再び立つ瀬なき有樣になつた。今から百日程前には戸々二十名に近き殆ど裸體の婦女を擁して立てる此の魔屈は、性善からざる猶太人乃至伊太利人に依つて私利私慾の爲めに經營せられてゐたのである。今や音樂は絶えて靜かに、電燈は滅して暗く、酒精の流れは止みて其の香だにない。

曾ては此の不淨にして人生を誤るべき巷に誘れたる何千の青年も今はこの公許の誘惑物より救はれた。

だが市伽古は一朝にして化して新エルサレムとなつたのではない。未だ罪惡は力を得てゐる、總ての罪惡の根源となる取締の不行屆なる事も全く一掃せられたとは云へぬ。未だ悔い改めぬ人の心に宿れる罪惡は消滅せられて居ない。

實に此の罪惡の反抗に開かれたる廓淸運動は未だ終つたとは云へぬ。若し正義の爲の戰爭が既に終つて、一千至福年期（基督復活し給ひて此の世に降り一千年間治し召し給ふと傳へらるゝ時代）が今市伽古に來たと思はば、悲しい哉其の考へは甚だ淺いと云はねばならぬ。

然し此所迄に到達し得たのは長い長い戰爭と其の勝利の結果である、此れが爲め青年男女を公に商賣的に又政治的に利用する族は一大打擊を受け、最早我市にては全然復活し能はざる狀態となつた。

身自ら十年の長き年月、市伽古の此の眞摯と正義の爲めに開かれたる廓淸運動の間に在つた關係からして、我市が今日あるを得たるに力ありし數々の原動力とも云ひ得べきものを概約に述べて見たい。

（一）祈禱

祈禱者の一小群が、千九百三年の夏以來此の娼婦撲滅の爲めに熱誠込めて祈禱した事は、大いに與つて力あると思ふ。折々此れ等の人々は祈禱裡に神の御座近く到達したかの如く感じた事もあつた。又其の御座の側近くにて、神樣より牧師や教師や記者や醫者や行政者や父母等を覺醒せしむべく先づ廓淸運動の端緒を開けよとの仰せを受けたとも感じた。夫ればかりに止まらで彼等の祈禱は聽き上げられたとさへ感じた。又屢々此の娼婦撲滅の祈願がお聽き上げに成つたと思ふた時は其の趣を多くの人に知らせた。又地震よりも何よりもより以上に力ある神のお答へは曾て豫言者や使徒等に答へまし

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ゝ神は、今も相變らず否永久不變であると云ふ事を示した。或る傳道師の寡婦は長の歳月の間此の神聖なる目的の爲に、夜もすがら祈禱した。

（二）傳道

十字架の傳道は神の力である。

此の神聖なる力も市伽古市の娼婦街に於て、一千九百四年の八月以來着々と施された。

一千九百六年四月一日此方と云ふものは、此の公娼街に於ける野外傳道を夏冬間斷なく執行した。或ひは雪を戴く土手の上で或は雪嵐の吹き荒ぶ中をものともせず傳道を繼續した。又深夜寒暖計零度を示すが如き寒氣强き時も、只誠の道を傳へんと街路に立ちて、福音の章を朗吟した。此の傳道の多くは經驗ある傳道師に依りてなされ、又女傳道師及び神學生に依りてなされた。

私共は實に四十八ケ國の箇々國語を異にせる人々に傳道を與ふるに、各自の國語にて印刷せる聖書を以つてした。

（三）科學

お醫者さんも男女を問はず私共と暑さ寒さを厭はず街路に立つた。時としては翌朝三時頃迄も立ち續けた事がある。

狹隘なる傳道の見地を離れ、福音書を神の唯一の伴侶として、此等の愛するお醫者さんを迎へ、娼婦の巷に遊ぶ何千の若者に彼等の遊興は心身に戰慄すべき罪の報を來らしめ、何も知らざる妻女を溺落せしめ、可憐にも嬰兒をして盲目ならしむる等の事實を披瀝せしむべき、機會と奬勵とを與へた。又數知れぬ青年の爲めに科學的に此等の恐るべき弊害を説ける廣告を與へた。或は此等の事實を多くの教役者乃至教會俱樂部等にて開陳した。

又一千八百七十九年ブレスローのスウイサー氏及び伯林のショーデイン氏等の手に依りて物せられたる顯微鏡圖解を取り寄せて多くの人々に分つた。此の圖解には論より證據彼の人類を損ふべき最も惡性の病氣の有る者は、不道德の結果なることを示して居るものである。

過去七年間紐育のプリンス、エ、モローー博士指導の下に此等の惡病豫防に關して社會指導を目的とする數々の協會を米國各市に組織した。如斯にして此等に關する報告を東西南北に傳へしめた。

ブラッセルに於て開かれたる萬國會議の推薦に係る此の惡病防禦策は、漸次一般社會の注目を惹くに至つた。

デグラーフ博士が馬德里會議にて朗讀したる、娼婦を業とする事に反對したる演説も、今や其の好結果を見るに至つた。同演説は娼妓賣買は主として遊廓の存在に起因するものであると云ふ事を傳へて居る。

（四）廓清運動

夜半傳道會は此の運動を市伽古にて開始するの榮を擔ふた。此の事はタリフォード、チ、ロー氏著 Great War on White Slavery（公娼撲滅大運動）と題する本にも書いてある。婦人にして不潔なる目的の爲めに利用せられ居るものに對して公娼（直譯して白奴）と云ふ恐しい名稱を與へて居るが此の名稱はヴィクター・ユーゴーがジョセフイン、バットラーに與へたる手紙から初まつたものらしい。

此の公娼撲滅運動はバットラー夫人主

唱の下に、ウイリアムテー、ステッド氏に依りて組織せられた。即ち同氏が此事を爲したのは英國の婦女の爲に、廓清運動を爲して獄に繋がれてから、再び出た時であつた。

市伽古にて此の娼婦と云ふ聞くだに忌はしき名の下に行はるゝ商賣に對して、最初の反對演説をしたのは牧師シドニー、ケンダル氏にして、實に一千九百六年十月のアブラハム、リンカン、センターにて開かれたる廓清集合の折であつた。

明けて千九百七年正月に一運動が我市に開かれて、此れが延いて合衆國全帶は云ふに及ばず、加奈陀迄に擴がつて此の一大運動となつた、云はずと知れた廓清大運動である。約十億枚の此の罪惡に反抗したる印刷物を過去五年間に北米に配布した。此の中にはクリツフオード、チ、ロー氏、ジエーン、アダムス孃、レヂナルド、コーフマン及び私の本等も含まれて居る。

私共は婦女の賣買は、實に遊廓があるからであるといふ事を着々と一歩も容赦なく主張した。尚又遊廓は婦女賣買の市場にして青年を破壞する所なりと攻擊した。私共は國際間に行はるゝ此恐ろしい稼業撲滅に關する國際條例中主なる條項を印刷に附して、約五十萬部許り公にした。又私共は最初に我が廓清運動會長より時の大統領ルーズヴエルト卿に致せる書翰には、各州に蔓まるゝ此醜業を懲罰する聯合法案を設ける事を請求し、併せて之が採用を主張した、が其効驗しからず遂に代議士マン氏及び合衆國辯護士シムス兩氏に依りて立案せられ採用せらるゝに至つた。即ちマン條例である。

移民委員の事業と移民條例及び娼婦取締條例とによりて、嚴重に娼婦成敗を爲したる事も亦世間の注意を惹き、邦人をして此婦女を醜業に携さはらしむる事の非なるを悟らしむるに與つて力あつた。

（五）其他の努力

市伽古の醜業取締委員の發表したる娼婦全廢政策の報告は、當市はいふに及ばず合衆國全土に一大良影響を及ぼしたアイオア州に於ける禁止法及びネブラスカ州に於ける同様なる法律は、延いて我イリノイ州にも好結果を齎らし、イリノイ警醒協會の盡力により、禁止法案は當州の上院を通過したが、下院にて揉み潰しの厄に遭ふた。此に於て禁止法案揉み潰し不合理の訴訟を、普通法によつて市伽古法律治安同盟主唱の下に市伽古のクックカウンティー巡回裁判所の衛生法部にてフイロ、エ、オテイス氏が提起した。これが遂に成功してアーマー街に於ける遊廓を閉鎖するに至つた。此の遊廓は實にオテイス氏の所有地にして、夜半傳道會所在地の隣りであつた。此訴訟事件は非常に利益があつた、即ち此事に依つて市民は市長を始め州廳の辯護士等よりも、正義の爲めの裁判には、より高大なる權利を獲得する事が出來るといふ事實を教へた。

（六）終極

ウエスト、ハモンドのヴアジニア、ブルツクス孃は、同市に於ける娼婦反對運動の首領となつて働いた。其上時のクツクカウンティーの辯護士ウエーマン氏及び其助手等をウエスト、ハモンドの妓樓

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

主を懲戒する事を肯せぬとて堂々と攻撃の矢を放つた。市伽古の「十五人委員」の辯護士カール、エ、ウォルドロン氏も亦ウェーマン氏の仕打に對して同樣な苦情を申込んだ。

市伽古及びクックに於ける娼婦不取締の事實は、市の各新聞紙上にてバルカン戰爭より以上に書き立てられた。六百の敎會より成れる市伽古の敎會同盟評議會は、其辯護士マッチンデー、クリーランド氏を法廷に送りて、公娼取締の爲め特別大審官と特別州辯護士の任命を存する事を請求した。

間もなく州辯護士よりの請求ありて、社會は今や遊廓廢止法を設くる事を歡ぶ樣になりたる旨を告げた。かくして數回の反對運動の爲十月初旬廢止せられた。三週間以內にハリソン市長は九人の市會議員より成る娼婦取締委員を擧げたが、それを統御する任に當つた委員長は、廓廢止よりも移轉の方をよしとした。其遊廓委員はかくして遊廓再築なり、永久廢止なり其所信を述べ度き者は申し出づべき旨を告げた。が衆議は全然移轉再築に反對であつた。

ダブリユ、エ、イヴアンス博士及びグラハム、テーラー敎授は、初めは移轉再築の方に贊成して居つたが、醜業取締委員としての經驗よりして全然之に反對の旨を述べた。ラビ、エミル、ジー、ハーシ氏は彼のチナイ山の昔物語に見ゆる樣な、又世の終りに神の御前の裁判にて惡魔を罵るかの樣な態度で、移轉再築は不可なりと絕叫した。オカラガン敎父始め羅馬敎の淑女達も等しく移轉再築の不可を叫んで一步も讓らなかつた。私は市伽古に十六年の餘も住んで居つたが、未だ曾て眞摯なる市民がかく激し、又かく結束して行動を俱にした事を見た事がない。

市伽古敎會同盟評議會は辯護士ルーファス、シモンス氏を任じて六百の新敎會の爲に演說を爲さしめた。玆に於て此の合衆國大審院の法律顧問たる國民は市會堂の會議室にて、九人の市會議員よりなる彼の委員の面前にて正義の演說をした。

私共は市伽古は斷じて三ケ月程前の如く道德的低かりし狀態に歸る事はないと信ずる。今は最早十二月の末つ方である、そして今迄に數度も遊廓を再開せんとしたが、常に嚴しい反對に遭ふて不可能に終つた。市長始め新しい州の辯護士も此の新しい健全なる狀態を永久に繼續して行く樣だ。

永遠の警醒と、永遠の傳道は敎會の使命である。ありとあらゆる社會福利の爲めに建設せられたる機關を益々健實にし罪惡救濟の事業をば益々進行せしむる必要がある。若し之を怠らば男の色慾と此恐ろしき罪惡を行ふて金を得んとする慾は再び芽出して、折角の今迄の仕事も水の泡となつて仕舞ふ。私共は益々勇氣を鼓舞し、神の榮光の爲め努力せん事を期して筆を擱く。

會告

純潔の歌
廢娼の歌

制限　七五調、四句一聯、四聯以上十聯以下

期日　六月末日迄延期、發表は七月號本誌上に於て

賞品　各一等本誌五ケ年二等三ケ年三等一ケ年間寄贈

右募集す、社會人道の爲、奮つて投稿せられたし

第三回總會

來る五月三十一日午後六時神田青年會館に於て、廓淸會全國大會を開く地方會員諸君の來會を歡迎す（詳細は次號）

噫恐るべき哉不貞潔の行爲

角谷和市稿

大正二年三月中東京の新聞紙上に於て報道せられしものにして如斯、全國に於ける同種類の事實を集めたらんには果して如何なる大數に及ぶべきや、想像するだに戰慄に堪へざるなり

（各本人若くは關係者の名譽を尊重し姓名の内一字宛を○となせり。尙記事輻輳の爲め十九日以後の分は次號に廻す事としたり。）

時日	住所姓名	職業	原因	結果	事情
一	不定 ○村○吉（十九）	無職	娼妓に入れ揚げ	窃盜檢事局へ	吉原西野樓の○木（二〇）及洲崎英大阪樓の○閑（二〇）などに浮かれ、
同	○原○一（廿七）	大工職雇人	娼妓に浮かれ	同	
同	小石川白山前町 ○崎○次郎（廿一）		同	敵娼の袷を盜む	敵娼○夫の部屋より御召縮緬の袷代價十六圓を窃取せし外廿六ヶ所にて金品三百圓餘を窃取し贓品を深川區東扇橋町廿五番地質店○賀○之助方外二ヶ所へ入質し吉原洲崎と浮れてる事發覺し二十七日御用となる
二	住所不定 橫濱 ○田○江（二五）		姦通、いたづら		十八歳の時橫濱吉田町の寫眞師○井鎌○郎方に嫁入したるが弟子の○邊○藏（三十五）と姦通して逐出され義兄○川方に厄介中自轉車を借りに來る同市青木町○本○藏（二十三）と通じ今度は根岸町の銀行員く村○作方へ奉公に遣りしに相變らず○藏と嬬曳を續け居るより淺○郎が散々兩人を罵りたるを悲觀し一日午後九時頃喜樂座前にて饅頭五個と附近の寫眞店よりソツピール一オンスを買ひ饅頭に詰めて淺○郎方へ携へ行き淺○郎が不義者めと罵るを合圖に兩人饅頭を頬張りたるが周章てたる爲め咽喉に閊へて死切れず橫濱病院に收容されたり
三	○根○松（四九）	藁繩販賣業	放蕩	離座敷で無理心中未遂	放蕩の結果不義理の借財嵩み進退に窮せるより情婦山武郡橫芝村料理店○屋方抱酌婦○藤お○（二十四）に屢々情死を迫りたるも剣付けられたるが二日午前四時頃同家離座敷に於て同衾熟睡中のお○に對し突然及先二寸程の洋刀を以て同人の面部胸部を突刺し自分も亦咽喉に突立てたり
同	群馬縣高崎 ○本○ク（二三）	菓子屋の娘	娼妓になりたさに	無斷家出	
同	龜戸村 鈴○清	牛乳屋	自己の放蕩より	妻を自殺せしむ	
同	同 清妻 さ○（二五）		夫の放蕩を苦にして	硝酸を服用して自殺す	
同	本鄕春木町 福○熙（二六）		娼妓に現を拔かし	窃盜	放蕩の結果金に困り各所に窃盜を働き去月廿八日芝公園内東照宮前の共同椅子に睡り居たる學生の懷中より五圓入りの蟇口を盜み芝園橋に差蒐り處を新堀署の刑事に押へらる

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

六	板橋町 ○邊 ○く(二〇)	銀行員方女中	淫奔	自殺せんとす	昨年十一月中活動寫眞錦輝館内で懇意になりし自稱明治大學法科二年生○藤○親(廿四)と上野山下の山城屋旅館其他で鬪曳し居りしが去る四日姉のお○が相當の縁談がありそに結納の取交せも濟みたれば至急暇を取りて歸宅せよとの事にお○は喫驚し○藤に濟まずと死を決せるものと判り懇々說諭
同	茨城縣川和田村 ○井 ○藏(二九)	元郡書記	放蕩のため	職を失ひ上京、無銭遊興をなし取押へらる	
七	兵庫縣龍野町 ○木 ○三(二七)		娼妓に浮かれ	詐欺窃盜	放蕩の結果各所にて金品を詐取し本年一月八日豐多摩郡内藤新宿字本宿二丁目の貸座敷豐玉樓方の娼妓清香(二〇)の許に浮れ同人の縮緬裲襠一枚代價卅五圓を窃取し吉原の貸座敷彥太樓の娼妓宰相(二十四)に右裲襠を與へ浮かれ居ること發覺し五日小川署の手にて御用
一一	○井 ○吉(三一)		放蕩	盗んだ金で豪遊檢事局送り	
同	秋田縣本莊町 ○邊 ○二郎(四二)		性來の放蕩	金を盗んで娼妓と馴染	實父の公債額面二千圓を窃取し、賣却して娼妓を落籍し逃走捕へらる、
一二	石○ 一	帝大事務官	亂淫	幾多婦人の貞操を蹂躙し排斥さる	
同	不定 ○本 ○藏(二六)		白首に浮かれ	華族豪商を荒し檢事局へ、	
一三	臺灣人、芝三田在住 番 ○ 榮(二三)	元學生	淫賣上りの情婦ゆゑ	萬引窃盜	明治學院にて秀才の聞えありしが、淫賣上りの○見○よ(二三)と私通し爾來一戸を構へ夫婦氣取に暮す内放校處分を受け、その後萬引窃盜
一五	石川縣小松町 ○上 ○次郎(四五)		少女を强姦し	取押へらる	箱根底倉温泉宿に止宿中共同湯に入浴に赴むき折柄入浴し居たりし同所伊藤利三郎の長女トミ(一六)の裸體姿の美なるを見て忽ち同人に飛掛り浴槽中に押倒し遂に獸慾を遂げ局部に負傷せしめしが此事早くも駐在巡査の知る所となり直ちに捕縛
同	○見 ○藏(二八)	農	酌婦に通ひつめ	空寺で情死	妻ある身ながら酌婦に熱くなり不義理の借財嵩みて情死
同	○名 ○五郎(二八)	米問屋雇人	藝者に馴染を重ね	掛先金を拐帶落籍せしめて逃走	
一六	○田 ○次郎(二三)		母の意見も聞かず娼妓に夢中になり	借金で身動きもならず、獨心中未遂	
同	越後廣瀬村 ○田 ○ 治(四五)		素行修らず妻を換へる事十三度	行倒れ養育院に送らる	若い時分より兎角に素行修まらず、或は人の妾を盗み、或は料理店の女中と馴れ染め出奔し、而かも上京の途中箱根に女を賣り飛ばし、件の金にて淺草山谷の邊に豆腐屋を營み、又魚屋となつて高座に上り人間となつたものゝ、内緣の妻を取り換へる事十三人に及んで流石に近所の手前も後めたく店を畳んで漂浪十餘年、果は乞食の群に入り終に千住近くの路傍に倒れ居たるを養育院に送らる
一六	茨城縣中川村 ○井 ○三郎(四三)		酌婦に熱くなり	情死す	

同	四谷永住町 ○田○次郎(二六)	女髪結養子	娼妓に夢中になり	無理情死を企てし、娼妓に血判遺書を迫つて取押へらる	
一七	○田○次(一七)	雷○次男	素行修らず	検擧	同類十餘名と黨をなし市中の中學に籍を置きあれど殆んど通學はせず、日夜淺草、上野、日比谷、芝公園等に出沒して男色女色を漁り赤帯組と稱して市中を横行しつゝありしが遂に検擧さる。
同	○田○雄(一八)	少佐息	同	同	
一八	澁○篤○	元男爵家相續人	同	位記返上	素行修まらず相續廢除の結果として位記返上を願出でたるにより十七日允許の御沙汰ありたり
同	大阪市 ○原○三郎(二一)	元袷物商雇人	姦通	女を斬つて自殺	主人の妻と姦通し解雇され其後改心するから元々通り使ひくれと頼みしも拒絶されたりとて女を斬つて自殺
同	○田○く		同	斬らる	同
一八	○・學(二四)	早大學生	女狂ひ	縊死	女狂を始め學資が不足した爲下戸塚東雲館へ移り自炊生活をなせしに、同年末○田お○(三十三)が同館を讓り受けてより兩人は情を通じ酒を飲合ひ唄ひ騒ぐ事など多く同宿の學生中呆れて他に轉宿したるもあり、其後益す深に陷り學校も缺席勝なりしが去五日午前十時登校するとて家出豆州熱海町淺見旅館にて縊死
同	長崎縣大野村 ○川○春(二二)	元東洋大學生	亂行	取押へらる	本所永隆寺住職の死後、その梵妻○ん(三八)を籠絡し、之と私通して同寺に入り込み、なほ看護婦上りの情婦をも引入れ、同寺の地代家賃をはじめ、所藏の什器等持出したる事判明取押へらる
同	豐橋騎兵第廿六聯隊 ○室○通(三八)	伯爵騎兵大尉	妻の不品行	失職	夫人○子(三十一)が一昨年頃より豐橋税務署の傭員○内某(二十七)と通じ居りたるも昨年春頃一旦手を切りたるに其後○子は更に他に男を造りたるより是を知れる○内某は憤慨して○子に迫り再び情を通ずるに至りしを豐橋騎兵隊の知る處となり遂に其禍は良人伯爵に及び豫備に編入せらるゝに至れるにて猶同伯爵は聟養子なる爲め○子の此不品行をも制する能はざりしものなりといふ
一九	埼玉縣 ○智○藏(三五)	牛乳搾取業雇人	娼妓を買ひ馴染み	乳牛十三頭を詐取	
同	○村○太郎	魚商養子	放蕩	負債を生じて轢死	十七日夜甲武線鐵道電車に觸れ轢死を遂げ、十八日に至り漸く身元判明
同	神田區泉町 ○中○メ(一六)	大工職長女	多淫	娼妓になりたくて放火	五六人の情夫あり、娼妓になりたけれど、期限にあらずとて暇が貰へぬより主家を焼けば暇が出るならんと放火す。
同	南千住 ○本○次郎(二六)	東京紡績職工	白首を買ひたさに	同僚の郵便貯金を窃取し罪跡を晦まさんため放火	

Digitized by Google

Original from COLUMBIA UNIVERSITY

自由廢業と樓主の大狼狽

左は靜岡縣江尻町のK、Y氏より本會への報告である。事件の內容が頗る興味あるものと思ふから全文を其儘掲載する事とした

遠江國小笠郡堀之內貸座敷金波樓方抱娼妓花龍事醍醐とみ(二二)は、去る二月廿五日別紙の如き書狀を當方へ送り越して來た。(記者曰、別紙の此書狀は長くなるから省略したが、要は身體が弱くて思ふ樣に稼げず、借金が殖えるばかりで厭になり、廢業したいから盡力して呉れとの意味である)余は早速自廢の準備として田舍警察の干渉妨害を避くる爲め、例に依りて其所轄なる掛川警察署堀之內分署長及各巡査に廓淸雜誌を送りて、主義目的を示し置き、愈々三月六日午後一時少し過ぎたる頃余は、堀之內に出張して金波樓に至り樓主伊藤利士に會ひ、娼妓花龍に會見を求めたるに、樓主は如才なく慇懃に挨拶して余を一室に案內し、豫て承知せるものゝ如く、花龍は昨年十月中橫須賀にて藝妓稼を致し居りしを、四百五十圓の正金を出して買取り來りしが當樓に參りてより病氣勝にて借金も嵩み六百五十圓となり、此頃漸く稼ぎ始めたるものなるに、今廢業せられては當樓の營業立ち行かず、よつて暫時御猶豫下されと未だ余が言ひ出さゞるに先ち淚を流して物語り、其間樓主の妻は二三回來りて樓主と囁き、何事か牒し合せし樣子なりき。

間もなく三人の男女其室に入り來り、自分は當地貸座敷南海樓々主落合伊太郎次は松井樓々主松井市平、次は開春樓々主石川あさなりと一應の挨拶を了り、異口同音にて、私共は此在の百姓なるが、先年堀之內に停車場設置せられ追々發展する模樣なるより、或人の勸めに依り或は高利を借りなど苦しき算段をして此營業を始めたる者なれば、若し此廓內に自廢者が續出する場合は、私共一同路頭に迷ふ次第故是非お助けに預り度しと、ペコ〳〵頭を下げるを以て、余は貸座敷營業の正業に非る旨を說き、全然廢業を勸告したるに、何れも人道として營む可らざる醜業なりとは承知し居るも、差當り財政上の關係より廢業も出來ずと樣々の事情を述べ居る折柄、豫て樓主より依賴せしものと見へ一人の田舍紳士(蓄髯せる洋服の出で立ち)入り來り余の前に坐し、吾輩は此町の隣なる六合村字本條に居住せる醫師松田由安といふ者にて、當娼妓病院の擔當者なるが、聞く處によれば此度花龍が病身の故を以て自廢を企てし由甚不都合の事にて、彼は藝妓たりし當時子宮病に罹り居りし者なるを、當樓に參りて以來吾輩が苦心投藥の結果全治せし者にて、目下健康體なる事を參考迄に保證すと語り、間もなく他の樓主と共に座を退き、隣室に至り密議する者の如し、余は樓主に迫り花龍に面會を求めたるに、稍ありて樓主の妻は花龍を引き連れ來りたれば、余は一應本人の意志を確め、後警察署に同行せんとて其用意を爲さしめたり。

其の內樓主伊藤は突然余の傍にすり寄りしを以て、或は暴行にても加ふる事かと身構へせしに、伊藤は余の上着衣袖に

手を差入れ、早くも飛び下りお助け下されと額を疊に當て、妻と共に泣き伏し居れり、余は衣嚢を改めたるに十圓紙幣數枚ありしを認め、直に取出し其不心得を說きて樓主に渡し、花龍を同行して堀之内分署に出頭せしは午後三時なりし、此時以前の各樓主及妓夫等數名は前後を取卷き付添ひ警察署に至れり、折柄警察署事務室より一人の男容子有り氣に急ぎ出で行くを見て、花龍は密かに余に告げ今の男は樓主伊藤の弟にて町内の下駄商に養子せし伊藤光次郎と云ふ者にて、先刻より廢業を妨害せん爲め警察への運動に努め居る云々と語りしが、余は心にも止めず、左樣の馬鹿げた事もあるまじと言ひつゝ名刺を受付に出し、署長に面會を求めたり。

署長櫟田悦三郎氏は折しも賭博犯の被告の訊問を爲し居りて、取調結了迄は面會せざる旨巡査より告ぐるを以て、余は署長の御用相濟む迄待受け申さんと答へたるに、署長は此挨拶が耳に入りしと見へ、大聲にて本職は待てとは言はず、待つなら勝手に待たれよ、取調は容易に結了せずといふを以て、署長としては餘り感心せざる言語とは思へども、用事の濟む迄は如何共詮なければ、余は花龍と共に徹夜する決心にて人民控所の腰掛に時の過ぐるを待受けぬ。

午後八時に至り受付の巡査は余を呼び如何なる用事なるやと尋ぬるを以て、娼妓花龍の名簿削除申請の件なりと答へしに、巡査は警察署としては娼妓の廢業も許可せぬ譯には非るも、一面樓主も保護せねばならぬが、前借金は如何致せしかと怪しからぬ質問とは承知し乍ら、何れ樓主も娼妓を抱へ入るゝ當時、金錢貸借に對しては相當の證人を立て、或は公證役場の手を經て本人中途廢業の場合は云々、貸金を支拂はざる節は云々と、警察の御注意なくとも慾に目のなき樓主等が損せぬ程度に扱目なく書類の作製も出來居れば、御心配には及ぶまじ、殊に廢業と借金とは全然別問題なりとの余の答辯に、巡査は本職の深く關係する處にあらず何れ署長よりお話もあらんが、明朝午前八時に出頭ありたしとお茶を濁したり

茲に於て余は花龍と共に警察署を引揚げ花龍は金波樓に、余は同町旅宿迎友館へ宿泊する事となりし時は午後九時なりき、それより松井南海の兩樓主は交々宿所に余を訪ねて泣き事を述べ來りしを以て、十二時就寢せしが、稍一時間餘も經過せし頃、金波樓々主伊藤は余の枕邊に來り是非今回の廢業を助け下されと要領を得ざる挨拶をなしつゝ、紙幣の束ねたるを差出し、實費の内へ納め置かれよ決して他言致間敷特に秘密にせんと心得御迷惑乍ら深夜訪ねし次第なりと陳述するを以て、余は廓清の主義目的を說き、眞の神が晝夜吾人の行動を見給ふ事を懇ろに諭し歸宅なさしめ、午前七時愈々花龍を警察に同行せんと金波樓に至りしに各樓主は前夜より徹夜して協議を凝らし花龍を說きし者と見へ、自廢は後日他の娼妓の爲にもならず、世間に對しても云々との理由を以て、示談廢業する事となり、同八時余は樓主伊藤及花龍と共に警察署に出頭し、其旨屆出花龍は自由の身となれり。

右御報告に及び候也

大正二年四月四日

海外遠征の娘子軍

（驚くべし一箇師團以上の日本醜業婦）

鬼哭生

（一）

日本から醜業婦が海外に出て居ることは聞いてゐた、しかも日本の海外發展は、醜業婦から始まると云ふことも聞いてゐた、然し其數はこんなに多いとは夢にも思はなかつた、統計について其示す處を見よ。統計に現はれてゐる料理店、飲食店、遊藝稼業、酌婦、雜業、無職の女は之は大抵は醜業婦である、之を合せたものは實に左の如き數となつてゐるのである。

支那（合計一萬六千四百四十二人）

關東州	八、三八八
間島附近	一九八
局子街附近	五〇
頭道溝附近	二一
琿春附近	六五
安東	七七一
奉天	七九〇
新民府附近	二三
遼陽	三〇〇
鐵嶺	二八九
牛莊	九二四
長春	一、五七三
吉林	七〇
哈爾賓	六五六
齊々哈爾	四五二
天津	二五一
北京附近	五一
芝罘	二二一
上海	七四七
南京	二二
蘇州	四
漢口	三八四
長河	六
福州	二四
厦門	九一
廣東及仙頭	五三

△新嘉坡（英領）	二、〇八六
△香港（同）	四八五
△柴棍（佛領）	一九二
△マニラ（米領）	三九二
△バタビヤ（蘭領）	九七〇
△バンコック（暹羅）	八
△孟買（英領印度）	一四七
△シドニー（濠洲）	七四
△桑港（米國）	三七一
△シカゴ（同）	三五
△ポートランド（同）	二七
△ホノルヽ（布哇）	九一三
△晩香坡（英領加奈陀）	八三
△亞爾然丁（南米）	六
△秘露（同）	二三
△墨西哥	二四
△倫敦（英國）	七
△獨逸	四
△露西亞	四
△浦潮（露領）	一、〇八七

總計 二萬二千三百六十二

實に驚くべき數である、日本人の海外に出てゐるものは總數約三十萬であるが、其一割は醜業婦である、此の多くの同胞が何の爲に外國まで出て恥を晒してゐるか、其の多くは日本の何處から行つたものか、主な處での彼等の生活の有樣は何であるか。

（二）

試みに日本郵船會社の歐洲航路の汽船を見るならば、どの船にでも三等客の女で怪しいのが乘つて居ないことは無い、之は大抵、香港や、新嘉坡、上海などに行く醜業婦である、月二回の歐洲航路には毎船往き復りに必ず居るばかりでなく社外船の如きは、實に多い、三等客の幾分は醜業婦と其關係の男である、之が取締なども嚴重だとは云はれてゐるけれども、夫は形式だけで、上海でたい水上警察から一應見に來ると云ふ位なもの、彼等は大手を振つて公然の渡航をしてゐ

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

る、中には石炭の中に隠れて密航するものも無いではないが之は極めて少數で、大部分は官憲も見て見ぬ振り、大目に通してやるのである、之等の醜業婦は皆門司から乘船するので有が、其國元を調べると多くは九州もので、醜業婦輸出で有名な、島原、天草附近から出るのである、中には神戸や東京附近から、近頃では北國からまで買はれて行くものもあるが、それは少數である。是等の女は何で海外まで恥を晒しに行くかと云ふに、彼等に取つては海外に行つて醜業を營むのが、嫁入仕度に行く位の心持で、所謂稼ぎに出るのである。故に彼等は少しく金が出來ると、日本服の晴着や帶などを買ひ調へる。彼等は全く無智の女である、街頭を行く紳士を捕へて「アンサマ」と云ふより外に、何事も云ひ得ず、語り得ざる憐むべき女である。其の多くは貧家の女、百姓の娘で渡航しては女子供の着るやうな赤いメリンスの浴衣を着て、新嘉坡のマライ街あたりに客を呼ぶのである、我が同胞が海外で斯かることをしてゐるのを見ると、何とも云へぬ不快と哀愁を感せずには居られぬ。

（三）

さて日本の醜業婦の北に行くものは大連を根據として、これより奥に入るのであるが、南に行くものは、前には香港を中心として新嘉坡、比律賓、柴混等に入り込んだものだ。然るに香港は近頃日本の紳士、紳商も多くなつたので、自然體面を重んずるやうになり、藝妓が多くなつて娼婦の方が減ずるやうになつた、それが爲め近來では新嘉坡が其の中心地點と變り、香港は第二位に下り、其繁華の度も、新嘉坡は新進の氣著しく現はれ、香港は稍々停滯の氣味がある、香港では事業をしてゐる人々の間では、醜業婦關係のあるものは、排斥されるやうになつたが、新嘉坡では、表面は其氣味もあれど、内部では醜業婦の助力によつて成功し、其の便宜を得て仕事をするものは多く、今では日本醜業婦の南方發展の中心は全く新嘉坡に移つたと云つてもよい。こゝを中心として佛領印度、ピナン、スマタラ等に入り、スマタラのデリーと云ふ處から、更に英領印度、カルカッタ、ボンベー等にまで行くのである、而して南洋一體にわたつて日本貿易の發展は、實に此の醜業婦が先驅となつて行き、其の道を開くのである。

歐洲の女では獨逸や佛蘭西の女が各地に發展してゐるが、日本の女ほど數に於て海外に出てゐるものはない。歐洲では日本の醜業婦は、組織的に發展し、しかも世界的であると云ひ、萬國同盟會の議場に於て問題となつたことがあるが、日本人に取つても、今後確かに研究すべき大問題であると思ふ。（新公論）

艶衣事件の上告棄却

品川三祐樓娼妓艶衣事茶谷艶が廢業に關して起りし取締規則違反の件は、前號所載の通り上告中の處愈〻去る九日公判開廷せられ、寺田辯護士は生憎旅行中であつたが。西村辯護士は例の沈着なる態度を以て極めて遒勁簡潔に議論の急所を捕へ。巧に上告の理由を辯論せられた。然し十一日の決審は遂に棄却となつた。詳細は次號に讓る。唯吾人は茲に滿腔の感謝を西村勘之助寺田四郎の兩君に捧ぐ。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

天籟地韻（來翰）

▲宮城縣渡波町　色川猷次氏

未だ御面識を得ずと雖、廓淸誌上に屢々の高說を承はり、常に邦家の爲めに感謝致し居る次第に御座候、小生昨年迄は石卷クリスチャン教會牧師として專ら傳道に從事致居候ひしも、感ずる處あり郷里渡波町助役として十二月十日就任致し今日に立至り候處、計ずも別紙新報誌上に御覽下さる通り、遊廓問題につき町長菊池氏と意見を異にするに至り、目下熟考中に候へ共、所詮辭職の上一戰爭免れ難き事と覺悟致候、それにつき小生は機先を制して、我宮城縣下に於ける廢娼運動を鼓吹致し、郷里の實際問題をば自然に解決せしむるは策を得たるものと信じ、只今既に知事寺田氏に呈すべき請願書を草し了りたる次第に候。就ては此問題につき貴下其他諸大家先生の御高說をも伺ひ、且誌上に於て出來得る限りの御高援を得度候、敬具。

▲栃木縣矢板町　村岡章氏

前略、當地に於ける廓淸の働き誠に遲々に候へども漸次前進致し居候まゝ御休意被下度候。然るに小生等の勢力微弱なる爲最も悲しむ可き事出來致し候。其は別紙に認め候如く町會議員の選擧に於て貸座敷業者の一級議員として選出され候事に候。これは實に地方風敎上並に學童敎育上由々敷一大事に候故、當敎會員並に當廓淸會員に謀らんとするも、前者は信仰生活の日淺く、後者も亦廓淸の精神未だ未熟に候故、殘念ながら首を垂れて小學校長並に郡視學に訴へ候へ共、前者は個人としては大に鼓を鳴らして責む可き事なれども、公人としては町の選定せることに對して異議を申出づる能はずと申され、後者は世間には貸座敷業者以上の犯罪者すら名譽員の椅子に列するもの多々あることなれば、選擧民の道義心を高め、漸次改善するより外道なしなど〻申され候、余は今更に救主イエスが「吾れ汝を出さん爲に來れり」との聖旨心骨に徹し候、小生は神の御助力を仰ぎつゝ、最善を盡して地方人心に訴ふる所存に候。此際地方風敎擁護の爲め示威運動を試み度候が、それにしても單獨にては効果を見ること覺束なく候につき、貴下の御來援を辱くする事を得ば大に助かることに候。

自覺なき一部國民、思へば哀れとも又悲嘆に不堪候、吾人が彼等を呼び醒さずんば誰か此事に當るものぞ、吾人の責任の一層大なることを覺え候。貴下願くば孤軍の中にある弱き小生の爲御祈り被下度候。

▲富山縣石動町　猪石友太郎氏

謹啓、貴下及び同志の諸兄姉主の御恩寵の下に、主義の爲め可憐なる同胞の爲め不斷の奮闘を續けられ候事は誠に感謝仕候次第に御座候。次に小生も光榮ある貴會の會員の末席を汚し居り候も、何等盡す事なく居りたるは實に赤面慚愧の至りに御座候、殊に富山縣は人智發達せず、從つて頑迷固陋にして廢娼の如き人道問題に至ては、何等の痛痒もなく定見もなき有樣にて比較的有識者等は不問に置きあり、特に甚しきは公娼の必要を認むると唱道する官憲のあるに至ては、實に慨歎の至りに御座候、風敎問題も人道的事業も悉く零と云ふも宜いと思ふ位に有之候。

四圍の事情、土地の士人の意嚮の如何なるかを顧みず、小生は去る三月十五日婚風頹枕の下に廢娼論の火蓋を切り申候、爾後大に叫ぶ考に御座候、當地は未だ雪有之候も來月ともなれば遲ればせにも好季節に相成り候へば、高岡市（人口三萬）へ出陣仕り大に絶叫の覺悟に候まゝ。本年九月より十月にかけ富山市にて一府八縣の共進會ありて、我日本メソヂスト敎會にては大に傳道致す計畫に候へば、其節御都合相つき御來陣被下候はゞ、大々的運動出來可申と相考へ申候。當縣は町制執行せられ居る處には、何處にも醜業婦が置かれ居る事故大に唱道の必要有之候、支部設置には會員數多を要し候や御伺申上候。

▲秋田縣能代港　一會員

今回當地より「能代實業新聞」なるもの發刊になり候が、二頁大の女郎屋及娼妓連名の「祝發刊」の大々的廣告あるには驚くの外無之候。靑年の廓淸運動に反抗せる者と見ゆ、貴誌上御筆誅を希上候。

能代貸座敷の娼妓、自身警察に出頭して自由廢業の申立をなせしが、署長は之を受理せしも、樓主は政友會の縣參事會員に賴み、署長を強迫して放たしめ、娼

妓は遂に前借金四百餘圓を仕拂ひし上合意廢業の形式取らせらる、最近の事實に候。

▲羽前國大山町　廣瀨仁吉氏

謹啓御會益御隆盛奉大賀候扨貴會昨年十二月十五日發行雜誌廓清紙上に岐阜縣の赤尾豐吉氏二女貸座敷宇野後四郎方より自由廢業をなせし趣御發表相成候に就ては當町にも貸座敷五軒有之其内には娼妓を殘酷に取扱ふ樓主も有之頭痛勞々のためにて到底稼業に從事されざるものをも無理從事せしむる等有之吾々廓清會員の一人としても見逃すべからざるの有樣に御座候、從つて自由廢業をなしたき希望の娼妓も多數有之候やに承り居り候に付、小生も盡力致したく一月十七日付を以て赤尾氏へ自由廢業をなせしにつきての手續を承りたく照會致し候へども未だ御返事無之每日待ち居る次第別紙は赤尾氏に宛てたる書面の寫しにつき差上申候間御覽被成下度御願申上候、倚序ながら申上置候が當町には前申上候通り、貸座敷五軒有之、娼妓の數は四十人、藝妓十五人居らる〻樣にて大正元年度に於ける登樓者數は六千七百四十三人消費高は二萬六千六十七圓九十五錢一厘の多額に登り居り、此巨額の金錢が徒らに無用無益に投ぜられしのみならず、之によりて社會に流さる〻害毒の如何に大なるかを思はれ候に付小生も當町より多數貴會々員を募集し一日も早く廓清致度決心に有之候間御同意被成下度御願申上候。

▲京都　風馳生氏

拜啓、當地遊廓は昨今非常に不振の有樣に御座候、殊に西陣地方は税金滯納者續々有之、從つて營業停止處分者も増加致し居候が、主張貫徹時期も目前に迫り居候。扨左記二氏を同志正會員に相募り候、最も右二氏は廢娼に關しては從來より非常なる熱心家に御座候尚客月入會せられたる贊助員〇〇氏も熱心に運動に從事致居られ候。

▲金澤救世軍小隊　升崎靈羊氏

小生は救世軍の一兵士に御座候。小生が過去の罪悪を基督の救によりて宥され、時々刻々妙なる主の御恩惠の裡に愉快なる生涯を送り居る事は、實に感謝に堪へざる處に候。然るに世は日に月に文運の進みつ〻ある今日、窮民、孤兒、不良少年等に對する救濟の道は講ぜられ居れども、憐れ娼妓のみは獨り永く公娼制度の鐵鎖に繫がれ遊廓といふ牢獄に呻吟し、二なき身體を金錢にて購はれ、動物園の獸類の如く店前に陳列せられ、色に飢ゑたる浮れ男の玩弄物として供給せられつ〻ある遊廓こそは、實に犯罪の根源地となり、日々の新聞紙の三面記事の大半は此等の中に起り居り候、然れども社會は彼處をして公共の娛樂場視し、市の繁榮は遊廓の盛衰にありなどいふ者有之候。此秋に方り偶々廓清會あるを聞き喜びに堪へず一書を呈し候。小生の微衷を容れて會員の一人となさしめ給はゞ、微力乍ら正義の爲に飽迄戰はん決心に御座候。

▲神田三崎救護會　島野惣市氏

拜啓、貴會益々社會人道の爲に御奮戰被遊奉大賀候降つて小生如き無學無智なる者をも貴會員として許され、又雜誌御送付に預り感謝に不堪候。小生も以前は遊廓などに出入し、恥とも思はず二十有年も無益に過ぎし者なれ共、去る年救世軍の兵士となりてより、幸に遊廓出入の恥を知り、目下は社會の片端に働き居る事に候。それに又貴會は我無上の光榮にて、小生も入會の上は救世軍の兵士として又廓清會員として、大問題の解決を見度奮闘の覺悟に有之、日本全國が此の聖旨に應ふる日の近からん事を切に祈り居候。

▲大阪支部　H、O、生氏

拜啓、艷衣事件に多大の努力遊ばされ候事感謝の至りに存じ候、機關雜誌廓清が主張しつ〻ある問題に對し、最後迄健實なる發展を祈るものに有之、必ずしも紙數の多きを望まず候。記事なき時は表紙のみの發行にても世を感化致し得可き事と存じ候。

▲横濱市　倉本瀧十郎氏

拜啓陳者先日は廓清御送り被下難有拜讀致候、廢娼運動は全國各地に起り、人道擁護の爲感謝の至りに御座候間小生は尚一層激烈なる運動の開始せられん事を希望致候。殊に我横濱の如きは外人專門の淫賣婦ありて巧に法網を潛りて外人を誘惑し、國威を汚損する甚しきあり、其他公娼私娼の爲めに青年の前途の方針を誤るの多大なるを感じ候、何卒當地にも支部を設立して激烈なる運動を開始なされては如何に候や、我等クリスチヤンの默視すべからざる事と存候故、愚生等も及ばず乍ら全力を盡して勞働社會の人心を廓清し、社會の下層より廢娼運動の助力致度と存じ、準備に着手致候間何卒廓清の古本有之候はゞ御送付被下度候。

草々敬具。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Kozagori. Sagami. (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

Dr. K. TAKATA.

Within a few minutes from the Chigasaki Railway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone : Chigasaki No. 2

▲入院は診斷後隨時需に應ず

松田、林、峰間三副長は目下當院に在勤

電話 本 八八八番（病院用） 八九八番（自宅用）

東洋内科醫院

東京市神田區駿河臺鈴木町二番地、御茶水橋附近

院長 醫學士 高田畊安

神奈川縣高座郡茅ケ崎町柏海濱、停車場より半里

電話 チガサキ 二番

南湖院

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

▲院長渡歐中の處先般歸朝す

修容は婦德の第一步

端正の精神は端正の容儀に宿る

常にクラブ洗粉を用ゐて氣高き素顏の美を增されよ

朝夕クラブ白粉を用ゐて床しき薄化粧を整へられよ

每朝クラブ齒磨を用ゐて口齒を淨め精神を爽かにせられよ

斯くして信仰深き御身の品位と健康とを保ち給ふべし

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY